WSPA 設定ツール

∨3.00 取扱説明書

2022年 6月 23日 **山ったっっっしっ** 渡辺電機工業株式会社

IM-0279-04

お願い ・このマニュアルは、本製品をお使いになる担当者のお手元に 確実に届くよう、お取りはからいください。 ・このマニュアルの全部または一部を無断で複写または転載する事 を禁じます。 ・このマニュアルの内容を将来予告無しに変更することがあります。 ・このマニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一、 ご不審な点や記載漏れなどがありましたら、当社までご連絡くだ さい。 ・お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合が ございますので、ご了承ください。 ・PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。 ・Core[™] i5-6300U は米国 Intel 社の登録商標です。 ・MS-Windows、.NET Framework は米国 Microsoft 社の登録商標です。

取扱い上の注意

ソフトフェアについて

- 本ソフトウェア製品は、著作権法および著作権に関する条約をはじめ、
 その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。
- ソフトウェアのバージョンアップを行う際は、旧バージョンをアンインスール後、
 新バージョンをダウンロードして起動下さい。

モジュールの設定について

- 演算の結果が±2,000,000%を超える値は扱えません。
 ±2,000,000%を超えない範囲でご使用ください。
- 演算では、小数点以下を3桁まで扱います。レシオ0.001などの使い方をした場合、 演算結果が小数点以下4桁以下となり、小数点以下4桁以下の情報は失われる事に なりますので、計算精度にはご注意ください。
- 稼働中に設定作業は行わないで下さい。
- 設定ツール上で、設定値を変更したときには、モジュールに反映させるため、
 必ず書き込み作業を行ってください。
- 書き込み後は、設定した値が本体に反映されている事を確認するため、
 再度読み出しを行い設定値を確認してください。
 誤設定防止のために、
 必ずこの手順を行ってください。
- 数値入力の際、設定桁数より下位の桁が入力された場合、四捨五入されます。

モジュールの設定情報ファイルについて(DAT ファイル)

- WSPAシリーズは設定情報ファイルと機器が1対1で動作するように設計されています。 異なる機器の設定情報ファイルを書き込む事はできません。
- 本ツール以外で設定情報ファイルを作成、編集したものを読み出し/書き込みしないで下さい。
 誤動作の原因となり、動作保証ができなくなります。
 異なる機器の設定情報ファイルを書き込む事はできません。

模擬入出力について

- 模擬入出力状態での運転は行わないで下さい。設定終了時に、
 模擬入出力が解除されている事を確認してください。
- 通信ケーブルを抜いた場合でも、モジュールは模擬入出力状態を維持しています。
 通信ケーブルを抜く前に模擬入出力の解除を行ってください。
- 模擬入出力中に、設定ツールが異常終了した場合は、
 模擬入出力状態が維持されている可能性がありますので、
 再度、設定ツールを使用して模擬入出力の解除を行ってください。

ケーブルについて

- 通信ケーブルを接続したままでの運転は行わないで下さい。
- 通信ケーブルは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分ですと、
 通信異常となったり、ソフトウェア誤動作の原因となる場合があります。

初期化

- モジュール初期化を行うと、設定情報は出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。 必要に応じて事前に設定情報をファイルに保存するなど行ってください。
- モジュール初期化をしても、モジュールは模擬入出力状態を維持しています。 モジュール初期化の前に模擬入出力の解除を行ってください。
- 初期化によりパスワードは設定されていない状態になります。

目 次

第1章	動作条件	
第2章	導入手順	10
第3章	プログラムの	ひ起動14
第4章 打	操作	17
4.1	通信設定	1 7
4.2	パスワー	۴
4.3	設定	
4.	3.1 設定情	「報を読み出す
	4.3.1.1	通信接続一全読み出し 21
	4.3.1.2	ファイルー開く 22
4.	3.2 データ	7の表示と設定24
	4.3.2.1	1入力演算器
	4.3.2.2	2入力演算器 33
	4.3.2.3	警報設定器
	4.3.2.4	直流/パルス変換器 50
	4.3.2.5	パルス/直流変換器58
	4.3.2.6	ポテンショメータ変換器 66
	4.3.2.7	抵抗温度変換器
	4.3.2.8	熱電温度変換器
	4.3.2.9	パルスレート分周変換器 90
4.	3.3 変換・	演算の設定
	4.3.3.1	リニアライズ(20点)、リニアライズ(100点)
	4.3.3.2	レシオ・バイアス
	4.3.3.3	-次遅れ応答100
	4.3.3.4	傾斜応答101
	4.3.3.5	開平102
	4.3.3.6	リバーサ
	4.3.3.7	最大保持(HOLD) 104
	4.3.3.8	最小保持(HOLD) 104
	4.3.3.9	ピーク・ツー・ピーク (HOLD) 105
	4.3.3.10	ハイモニタ 106
	4.3.3.11	ローモニタ 107
	4.3.3.12	偏差モニタ 108

4.3.3.13	変化率モニタ	1	09
4.3.3.14	ハイローリミッタ	1	10
4.3.3.15	変化率リミッタ	1	11
4.3.3.16	プリセット	1	12
4.3.3.17	ソフトプリセット	1	13
4.3.3.18	スケーリング	1	14
4.3.3.19	ハイセレクタ	1	15
4.3.3.20	ローセレクタ	1	16
4.3.3.21	加減算	1	17
4.3.3.22	乗算	1	18
4.3.3.23	除算	1	19
4.3.3.24	スイッチセレクタ	1	20
4.3.3.25	ソフトスイッチセレクタ	1	21
4.3.3.27	圧力補正1	1	23
4.3.3.28	圧力補正2	1	24
4.3.3.29	パルス出力パターン	1	25
4.3.3.30	パルス平均化	1	26
4.3.3.31	パルスレート	1	27
4.3.3.32	パルス分周	1	29
4.3.4 設定情	「報を書き込む	1	31
4.3.4.1	通信接続-全書き込み	1	31
4.3.4.2	ファイルー保存	1	31
4.3.5 印刷す	13	1	33
4.3.5.1	印刷プレビュー	1	33
4.3.5.2	印刷	1	34
4.3.6 バーミ	ジョン画面	1	35
4.3.7 初期化	<u>.</u>	1	35
第5章 メッセージー	一覧	1	36

第1章 動作条件

1. 動作環境

動作環境は以下の通りです。

表 1-1. 動作環境

項目	要件
0S	Windows 10 Pro 64bit (32bit 非対応)
	Windows 11 Pro
	※弊社では Windows10 Pro Version1809、Windows11 Pro Version21H2
	にて動作確認を行っています。
.NET Framework	4.6.1
	※Windows10 Ver1507以前の OS をご使用の場合、インストールする
	必要があります。
CPU	Intel® Core™ i5-6300U CPU @2.40GHz 以上
メモリ容量	2GB 以上推奨
ディスク容量	上記が快適に動作する環境
	(本ソフトウェアは15MB以上の空き容量が必要です)
ディスプレイ	XGA1024×768 以上
マウス	必須
USB ポート	1 ポート以上
	USB ポートは通信ケーブルを接続します。
	接続設定は COM1~20 のいずれかに設定する必要があります。

2. 接続形態



<mark>注意</mark> ・本プログラムによって設定書き込みをすると機器内部の不揮発メモリに 書き込みが行われます。 ・不揮発メモリの書き込み回数制限は1万回までとなっています。

3. 設定可能機種一覧

製品名・形式	機能説明	出荷時設定状態
熱電温度変換器	JIS 準拠の熱電対(サーモカ	%演算レンジ:0%~100%
WSPA-FTH/FTHW	ップル)と組み合わせて使用	単位設定 : 摂氏
	する小形プラグイン式の温度	入力フィルタ :あり
	変換器です。	入力ローレベルカット:なし
		演算:一次遅れ応答 0.1 秒
		出力ローレベルカット:なし
抵抗温度変換器	JIS 準拠の測温抵抗体(抵抗	%演算レンジ:0%~100%
WSPA-FRT/FRTW	性温度ディテクタ、RTD)と組	単位設定 : 摂氏
	み合わせて使用する小形プラ	入力フィルタ :あり
	グイン式の温度変換器です。	入力ローレベルカット:なし
		演算:一次遅れ応答 0.1 秒
		出力ローレベルカット:なし
ポテンショメータ	3 線式ポテンショメータの抵	%演算レンジ:0%~100%
変換器	抗値で取り出される回転角や	入力フィルタ :あり
WSPA-FMS/FMSW	直線移動量などを、直流電流	入力ローレベルカット:なし
	または直流電圧に変換する、	演算:一次遅れ応答 0.1 秒
	小形プラグイン式の変換器で	出力ローレベルカット:なし
	す。	起動遅延時間:0秒
警報設定器	直流電流、電圧信号を入力し、	%演算レンジ:0%~100%
WSPA-FHL	その値が設定値を超えた、	入力フィルタ :あり
	または下がったときに 2 つの	入力ローレベルカット:なし
	リレー接点信号またはオープ	演算:一次遅れ応答 0.1 秒
	ンコレクタ信号を出力する、	1ch 警報設定值
	小形プラグイン式の変換器で	ヒステリシス幅
	す。	2ch 警報設定値
		ヒステリシス幅
パルスレート分周	入力パルス列信号を分周する	入力フィルタ:なし
変換器	ことによって、希望のスケー	演算 : パルス分周
WSPA-FDR	リングを施し、波形整形、オ	起動遅延時間:0秒
	プトアイソレート処理をした	
	バルス出力をする、小形プラ	
	ダイン式のパルス変換器で	
	す。	

製品名・形式	機能説明	出荷時設定状態
パルス/直流変換器	パルス列信号を入力し、その	%演算レンジ:0%~100%
WSPA-FLV/FLVW	周波数に比例した直流電流、	入力フィルタ :あり
	電圧信号を出力する、小形プ	入力ローレベルカット:25Hz
	ラグイン式の変換器です。	演算:パルス平均化(パルス数1)
		一次遅れ応答 0.1 秒
		出力ローレベルカット:なし
		起動遅延時間:0秒
直流/パルス変換器	直流電流、電圧信号を入力し、	%演算レンジ:0%~100%
WSPA-FVF	その入力値に比例する周波数	入力フィルタ :あり
	のパルス列信号を出力する、	入力ローレベルカット:なし
	小形プラグイン式の変換器で	演算:パルス出力パターン
	す。	(デ゛ューティ 50%)
		出力 ローレヘ ルカット: 0.000002Hz
		起動遅延時間:0秒
1入力演算器	直流電流、電圧信号を入力し、	%演算レンジ:0%~100%
WSPA-FAL/FALW	開平演算などの各種演算処理	(最大レンシ、がマイナスを含む場合
	を行い、その演算結果に従っ	は-100%~100%となる)
	た直流電流、電圧信号を出力	入力フィルタ :あり
	する、小形ブラグイン式の変	入力ローレヘンルカット:なし
	換器です。) 演算: レジオハ イアス (レジオ 0.5)
		出力ローレヘルカット:なし
2人力演算器	2 つの直流電流、電圧信号を	% 演算 レンジ: 0% ~ 100%
WSPA-F2AL/F2ALW	人力し、加減昇などの各種演	(最大レンジかマイナスを含む場合
	算処理を行い、その演算結果	は-100%~100%となる)
	に従った直流電流、電圧信号	
	を出力する、小形フラクイン	$ \land \square P = V^{\land} N \exists y \land z \in \mathcal{I} $
	式の変換器です。	
		$2ch V \sqrt{3} \wedge 4 \sqrt{3} \sqrt{(V \sqrt{3} 0.5)}$
		加减昇(1ch:100%、
		起 則

第2章 導入手順

本プログラムを使用するための手順をご確認下さい。

1. 導入手順



2. メニューバー

ファイル		環境設定]	ヘルプ	
通信接続ー全読み出し 通信接続ー全書き込み ファイルー開く ファイルー保存	$(\rightarrow 4. \ 3. \ 1. \ 1)$ $(\rightarrow 4. \ 3. \ 4. \ 1)$ $(\rightarrow 4. \ 3. \ 1. \ 2)$ $(\rightarrow 4. \ 3. \ 4. \ 2)$	パスワード 通信設定 初期化	$(\rightarrow 4.2)$ $(\rightarrow 4.1)$ $(\rightarrow 4.3.7)$	バージョン情報 	(→4.3.6)
印刷プレビュー 印刷 終了	$(\rightarrow 4. \ 3. \ 5. \ 1)$ $(\rightarrow 4. \ 3. \ 5. \ 2)$			_	

図 2-2.

3. USB ケーブルドライバインストール

本ドライバはアズビル株式会社からの提供品です。 一部表示が「アズビル株式会社」または「YAMATAKE」となります。

> ダウンロードした「drvsetup64」フォルダ内の「drvsetup64.exe」を ダブルクリックします。 ※エクスプローラーの設定により「.exe」が表示されていない場合がございます。

以下の画面が表示されましたら、<次へ>をクリックします。

アスビル株式会社USBロータケーフルドラ	イバインストーラ
	USBローダケーブル インストーラへようこそ!
	このウィザードはUSBドライバをインストールします。
991	
	続行するには、「次へ」をクリックしてください。
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > キャンセル

🗵 2-3.

以下の画面が表示されましたら、<同意する>にチェックし、<次へ>を クリックします。

アズビル株式会社し	JSBローダケーブル ドライバ インストーラ	
使用許諾		
Ŵ	続行するには、使用許諾契約に同意してくだ スクロール バーまたは PageDown キーを使っ 	さい。契約書の全体をお読みになるには、 てください。
	【重要】 本ソフトウェアをインストールする場合には、ま ソフトウェアのご使用条件」をお読み頂き、項 てください。使用条件に承諾いただき本ソフト お客様とアズビル株式会社(以下「2」とい 約」といいます)が成立したものとさせていただ	↑ 客様(以下「甲」といいます)は、以下の『 常語される場合は、「同意する」をグリックし ウェアのインストールが完了した時点で、 います)間の使用許諾契約(以下「本契 ぎます。
	し同意いただけない場合は、「同意しない」そ れます。 「「「「「」」、「「」、「「」、」、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	£クリックし((たさい。インストールは中止さ <u>→ ····································</u>
	 ● 同意する ○ 同意しない 	名前を付けて保存(S) ED刷(P)
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

図 2-4.

インストールが開始され、以下の画面が表示されます。
アズビル株式会社 USBローダケーブル ドライバ インストーラ
USBローダケーブル ドライバソフトウェアをインストールしています
ジ ドライバをインストールしています。しばらくお待ちください。完了するまでに時間がかかることがあり ます。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

図 2-5.

以下の画面が表示された場合は<インストール>をクリックします。 ■ Windows セキュリティ × このデバイス ソフトウェアをインストールしますか? ※ 名前: Prolific ポート (COM と LPT) 発行元: Yamatake Corporation ✓ "Yamatake Corporation" からのソフトウェアを常に信頼 する(A) ● 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインストールしてください。安全にインストールできるデバイス ソフトウェアを 判断する方法

図 2-6.

完了の画面が表示されたら、インストールは完了です。 <完了>をクリックします。

アズビル株式会社 USBローダケーブルド	ライバ インストーラ
	インストール完了
	ドライバは、正しくこのコンピュータにインストールされました。 今、このコンピュータにデバイスを接続できます。デバイス付属の説明書がある場 合は、最初に説明書をお読みください。
	ドライバ名 ✓ Prolific (Ser2ol64) Ports. 使用できます
	< >>
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

図 2-7.

第3章 プログラムの起動



プログラムの起動

本ツールをご使用の際は管理者アカウントでログオンしてください。

ダウンロードした zip ファイル「WSPA_ConfigurationTool」を解凍します。 zip ファイルを右クリックして、「すべて展開」をクリックします。 展開先の場所を聞いてきますので、十分に容量のある場所を指定してください。 解凍したフォルダを開き、「WSPA.exe」をダブルクリックします。 ※エクスプローラーの設定により「.exe」が表示されていない場合がございます。

📙 en	2019/07/09 14:02	ファイル フォルダー	
📕 icon	2019/07/09 14:02	ファイル フォルダー	
📙 is	2019/07/09 14:02	ファイル フォルダー	
📕 nnh-CM	2019/07/09 14:02	ファイル フォルダー	
📙 nqo-GN	2019/07/09 14:02	ファイル フォルダー	
📙 picture	2019/07/09 14:02	ファイル フォルダー	
📕 Tbl	2019/07/09 14:02	ファイル フォルダー	
📕 Text	2019/07/09 14:02	ファイル フォルダー	
WSPA.exe	2019/07/09 13:55	アプリケーション	2,035 KB
🗋 WSPA.exe.config	2019/03/22 17:25	CONFIG ファイル	1 KB
🗋 WSPA.pdb	2019/07/09 13:55	PDB ファイル	590 KB
📄 WSPA.xml	2019/07/09 13:55	XML ドキュメント	2 KB
🔊 WspSet.ini	2019/07/09 14:40	構成設定	1 KB

図 3-1.

※初回起動時のみ、下記画面(左)が表示されることがあります。 この場合、[詳細情報]をクリック後、新たに表示された[実行]をクリックして ください。



WSPA設定ツールが起動します。



図 3-3.

初めての起動時には上記画面が表示されます。 <同意します>を押すと本プログラムが起動します。 <同意しません>を押すと本プログラムは終了し、 次回も [許諾画面] が表示されます。

起動した時点ではプルダウンメニューしかクリックすることができません。

WSPA設定ツール	- 🗆 X
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
製品名称	入力1 ch %
製品形式	
	%
パージョン	出力1 ch
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	- %
%演算レンジー	出力2ch %
◎ 0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う)	
○ -100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 3-4.

※プログラムの二重起動はできません。起動した場合はエラーを表示します。

注意

本ツールを使用するには.NET Framework 4.6.1 が必要です。 起動に失敗する場合 0Sの Version をご確認の上、.NET Framework 4.6.1 を インストール後、本ツールをご使用ください。

第4章 操作

4.1 通信設定

<mark>注意</mark>
通信設定は毎回行う必要はありません。
一度設定するとプログラムで記憶します。

環境設定メニューから〔通信設定〕を選択します。

	🥶 WSPA設定	ミツール	
	ファイル(F)	環境設定(C) ヘルプ	f(H)
ľ	製品情報	パスワード	出力設定 模擬入出力 ファイル情報
		通信設定	
	製品名称	初期化	
	製品形式		

図 4-1.

硘 環境設定		×
通信ボート	COM1 V	
		ОК
		キャンセル
	図 4-2.	

- ●通信で使用する通信ポート番号を指定します。(デフォルト: COM1) COM1~COM20から選択できます。

< OK > を押すと設定が完了し画面が終了します。

接続したUSBケーブルが何番の通信ポートで認識されるか確認するには、 ディバイスマネージャで確認してください。

アプリと機能(F) モビリティ センター(B) 電源オプション(O) イベント ビューアー(V) システム(Y) デバイス マネージャー(M) ネットワーク接続(W) ディスクの管理(K) コンピューターの管理(G) Windows PowerShell(I) Windows PowerShell (管理者)(A) タスク マネージャー(T) 設定(N) エクスプローラー(E) 検索(S) ファイル名を指定して実行(R) シャットダウンまたはサインアウト(U) > デスクトップ(D) ļ

スタートメニューを右クリックし、メニューを表示します。 デバイスマネージャーをクリックします。

図 4-3.

ポート(COMとLPT)] の中にある[Yamatake USB Loader Commport](COM7)] を確認します。 この場合はCOM7が割り当てられている事になります。

書 デバイス マネージャー	—	Х
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)		
> 🕳 ディスク ドライブ		^
> 🤜 ディスプレイ アダプター		
> 🚽 ネットワーク アダプター		
> 🦢 バッテリ		
> 🛺 ヒューマン インターフェイス デバイス		
> דעלוד		
プロセッサ		
🛱 Yamatake USB Loader Comm. Port (COM7)		
🔉 🕕 マウスとそのほかのポインティング デバイス		
> □ モニター		
▶ 🏺 ユニバーサル シリアル バス コントローラー		
▶ 💼 印刷キュー		
		~

図 4-4.

4.2 パスワード 注意 パスワード設定は毎回行う必要はありません。 一度設定すると機器側で記憶します。 ●設定を容易に変えられないようにパスワードを設定することができます。 (1)環境設定メニューから [パスワード]を選択します。 WSPA設定ツール ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H) パスワード 製品情報 出力設定 模擬入出力 ファイル情報 通信設定 製品名称 初期化 製品形式 図 4-5. (2)パスワードを設定します。 × 에 パスワード設定 パスワード οк 新しいパスワード キャンセル 新しいパスワード確認 図 4-6. ●パスワード: ・パスワード未設定の機器と接続している場合は、パスワードの欄に 何も入力しないでください。 ・パスワード設定済みの機器と接続している場合には、パスワード欄に パスワードを入力してください。 ●新しいパスワード:

・変更するパスワードを入力してください。

●新しいパスワード確認:

 ・新しいパスワードの入力ミス確認をするため、新しいパスワードと 同じ文字を入力してください。

<u>入力は半角4文字までとなります。</u>

(半角文字 A~z、0~9、記号#\$%…)

- ※パスワード設定は機器と通信を行います。<OK>をクリックする時は 機器と通信ケーブルで接続してください。
- ※パスワードを無しに設定する場合は、新しいパスワードに何も入力しないで <OK>を押してください。

※機器との接続が初めての場合、パスワードの欄は何も入力しないで 新しいパスワードと新しいパスワード確認の欄に同じパスワードを設定 してください。

4.3 設定

4.3.1 設定情報を読み出す

4.3.1.1 通信接続-全読み出し

1.ファイルメニューから [通信接続-全読み出し]を選択します。

퀠 WSPA設定ツール	
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ	(H)
通信接続-全読み出し	出力設定 模擬入出力 ファイル情報
通信接続-全書き込み	
ファイルー開く	
ファイルー保存	
印刷プレビュー	
印刷	
終了	-
	-

図 4-7.

機器と通信ケーブルで接続して設定情報を読み出します。

※全読み出しを行わないと、書き込みがでない状態です。
 また各タブも選択できません。
 ※機器運転中に全読み出しをすることは可能です。
 機器運転中に"全書き込み"は行わないで下さい。

<mark>注意</mark> ノイズの多い環境では初回接続時、通信エラーとなることがあります。 再度、接続操作をおこなってください。

2.機器にパスワードが設定されている場合、下記の画面が表示されます。
 パスワードを入力し<OK>ボタンを押すか、スキップすることができます。

スキップした場合は機器への<設定書き込み>ボタンは選択できない 状態になり、設定情報は書き込みできません。

硘 パスワード設定		×
パスワード		ОК
		スキップ
L	図 4-8.	

パスワードが設定されていない場合、この画面は表示されません。 一度入力を完了しますと記憶され、この画面は表示されません。 ただし、本ツールを再起動した場合や接続しているモジュールを変更した 場合はパスワード記憶がクリアされ、再び上記画面が表示されます。

4.3.1.2 ファイルー開く

以前に設定した情報をファイルに保存した場合、保存した情報を読み出して 同一の設定をすることができます。 ※保存については「4.3.4.2 ファイル-保存」を参照してください。

1.ファイルメニューから [ファイルー開く] を選択します。

🥶 WSPA設定ツール			
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H	H)		
通信接続-全読み出し	出力設定	模擬入出力	ファイル情報
通信接続-全書き込み			
ファイルー開く			
ファイル-保存			
印刷プレビュー			
印刷			
終了			

図 4-9.

2. ファイル種類を"DATファイル"として、保存してあるファイルを 指定して<開く>を押します。

🥶 開く			×
← → ~ ↑ 🔒 > PC	> デスクトップ > csv	✓ ひ csvの検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー			?
クイック アクセス	名前 	更新日時 種類	
📰 ピクチャ 🛛 🖈	□ 1人/油具 □ 1人/油具	2019/03/12 17:08 DAT 77/1/ 2010/02/12 16:57 DAT 77/1/	
🚆 ドキュメント 🛛 🖈	■ 2八万演算	2019/03/12 16:57 DAT 77/1/	
🖊 ダウンロード 🖈	////////////////////////////////////	2019/03/12 16:58 DAT ファイル	
DATA1	ポテンショメータ	2019/03/12 17:02 DAT ファイル	
データ	💭 警報設定器	2019/03/12 17:03 DAT ファイル	
デスクトップ	🥮 直流_パルス	2019/03/12 17:00 DAT ファイル	
提出csv	🗐 抵抗温度	2019/03/12 17:04 DAT ファイル	
ConeDrive	🥅 熱電温度	2019/03/12 17:04 DAT ファイル	
PC			
🧊 3D オブジェクト 🗸	<		>
ファイル	名(N):	✓ DAT771№	\sim
		開く(O) キャンセ	μ :

図 4-10.

<u>年</u> 上にノアイル情報が衣小されます。	
硘 DatOpen	×
C:¥Users¥soft¥Desktop¥cʂv¥1入力演算.dat	
DAT内容	
[24トル②] [作成者].渡辺電機工業	
[日何],2019/1/1 [ファイル名],1入力演算.dat [コメント]	
О К <i>キャンセル</i>	

3. 指定したファイル情報が表示されます。

図 4-11.

内容に間違いがなければ<OK>をクリックします。 ファイルを再度指定するには<キャンセル>ボタンを押します。

※ファイル内の設定情報を機器に設定する場合は、<OK>をクリック した後、メニューのファイルから「通信接続-全書き込み」を選択し、 設定情報を書き込んでください。 (各設定タブの"設定書き込み"、"設定読み出し"ボタンは押せない 状態になっています)

※選択したDATファイルが正常に読み出せなかった場合はエラー画面 を表示します。

<mark>注意</mark>

WSPAシリーズはDATファイルと機器が1対1で動作するように なっています。 異なる機器のDATファイル情報を書き込む事はできません。

注意

本ツール以外でDATファイルを作成、編集したものを読み出し/書き込み しないでください。 誤動作の原因となり、動作保証ができなくなります。

0

 3 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H) 製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニター
製品名称 1入力演算器 製品形式 WSPA-FALW-03DD-AX-15AA00	入力1 ch % V
製造番号 18LA000246	
ハーンヨン 1.00 コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	出力1 ch % mA
%演算レンジ ● 0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う) ○ −100%~100%(入力/出力を−100~100%として扱う)	出力2ch % mA
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-12.

●機器の[製品形式]、[製造番号]、[バージョン]を表示します。

- ●機器に設定されている [コメント]を表示します。
- ●機器にコメントを設定することができます。
- 最大文字数:半角16文字、全角8文字(カンマは使用できません)
- ●機器に設定されている[%演算レンジ]を表示します。
 ・0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う)

動作概要:入力、出力	りが 0~100%の範囲で扱われる。
入力%範囲調整 100	%に設定した値が 100%
O % k	こ設定した値が 0%
出力%範囲調整 100	%に設定した値が 100%
O % k	こ設定した値が 0%
-100%~100%(入力/出	力を-100~100%として扱う)
動作概要:入力、出力	hが−100~0~100%の範囲で扱われる
入力%範囲調整 100	%に設定した値が 100%
O % k	こ設定した値が 0%
自重	め的に-100%に相当する値
出力%範囲調整 100	%に設定した値が 100%
O % k	こ設定した値が 0%
自重	め的に-100%に相当する値
※ローレベルカット	は無効になります。

- ●<設定書き込み>により[コメント]と[%演算レンジ]を機器へ設定 することができます。
- ●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

WSPA設定ツール	-
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	デ ータモニタ
1ch入力	入力1 ch
ፖታወሻ入力	- 20
最大入力レンジ -10.0V~10.0V	*
 ● 移動平均処理 	11.1.1
	- %
□ □-L/(") /twh 0.00 % (0.00~120.00%)	_ mA
	出力2ch
入力%範囲設定	_ %
	_ mA
100% 12,000 V 現在入力値取得	
100% 12.000 V 現在入力値取得 0% 0.000 V 現在入力値取得	
100% 12.000 V 現在入力値取得 0% 0.000 V 現在入力値取得 パーグラフ更新	
100% 12.000 V 現在入力値取得 0% 0.000 V 現在入力値取得 設定範囲は−12.000Vです。(精度保証範囲:最大入力レンジ内)	
100% 12.000 V 現在入力値取得 0% 0.000 V 現在入力値取得 現在入力値取得 設定範囲は−12.000V~12.000Vです。(精度保証範囲:最大入力レンジ内)	データモニタ

図 4-13.

- ●機器の [最大入力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている「入力フィルタ」を表示します。
 - ・<フィルタ処理なし>か<移動平均処理>を選択します。
 フィルタ処理無し:4.58ms 毎に 8回分の移動平均処理をしています。

移動平均処理 : 4.58ms 毎に <u>24 回分</u>の移動平均処理を しています。

- ・移動平均処理を設定することで入力値を安定させることができます。
 ●機器に設定されている[ローレベルカット]を表示します。
 - ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00% です。
 - ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。
- ●機器に設定されている [入力%範囲設定] を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大入力レンジにより変化します。
 - ・ 画面の例では「設定範囲は-12.000V~12.000V です」と表示されて います。
 - ・ [100%] と [0%] の値を設定します。
 - 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - ・<現在入力値取得>により現在の入力値を使用することもできます。
 - ・<バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大入力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大入力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 WSPA設定ツール 	- 🗆 🗙
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
マナロガ 】 カ	- %
	V
最大入力レンジ10.0V~10.0V	
入力フィルター	
○ フィルタ処理なし	
● 移動平均処理	出力1 ch
	- %
ローレベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	- mA
	出力2ch
	- %
入力冷範囲設定	- mA
10.000 以 現在入力値取得	
0% 5.000 V 現在入力値取得	
設定範囲は-12.000V~12.000Vです。(精度保証範囲:最大入力レンジ内)	データモニタ
設定書き込み 設定読み出し	

図 4-14.

- ・製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●設定書き込みにより入力設定の内容を機器へ設定することができます。
 ●設定読み出しにより入力設定の内容を機器から読み出すことが

できます

※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。

※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。



●機能1、3、4 下記の演算を設定する事ができます。

- 「4.3.3.2 レシオ・バイアス」を参照ください。
- ・「4.3.3.3 一次遅れ応答」 を参照ください。
- 「4.3.3.4 傾斜応答」 を参照ください。
- ・「4.3.3.5 開平」 を参照ください。
- ・「4.3.3.6 リバーサ」 を参照ください。
- ・「4.3.3.7 最大保持(HOLD)」 を参照ください。
- ・「4.3.3.8 最小保持(HOLD)」 を参照ください。
- ・「4.3.3.9 ピーク・ツー・ピーク(HOLD)」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.11 ローモニタ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.10 ハイモニタ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.12 偏差モニタ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.13 変化率モニタ」を参照ください。
- ・「4.3.3.14 ハイローリミッタ」 を参照ください。
 ・「4.3.3.15 変化率リミッタ」 を参照ください。
- ・「4.3.3.16 プリセット」 を参照ください。
- ・「4.3.3.17 ソフトプリセット」を参照ください。

●機能2 下記の演算を設定する事ができます。 ・「4.3.3.1 リニアライズ(100点)」を参照ください。

※プルダウンメニューで機能を選択するとアイコンの表示が 変わります。

※アイコンをクリックすることで選択した機能の設定画面を表示する ことができます。説明画面については各演算のページを参照して ください。

※各演算において、前の演算から機能の動作指示を受ける場合は "DI"と表示しています。(最初の演算については"DI"の表示は しません。DI=FALSEとなります) 演算結果を次の演算の動作指示として扱うことができる場合は "DO"と表示します。

"DI"がどのように働き、"DO"がどのような値になるか、 各演算画面の説明を参照してください。

- ●<設定書き込み>により変換・演算設定の内容を機器へ設定すること ができます。
- ●<設定読み出し>により変換・演算設定の内容を機器から読み出す ことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

④出力設定	
 wspa設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch
アナログ出力	
最大出力レンジ 0.0mA~20.0mA	
□ □-レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
起動運延時間 0 sec (0~99sec)	出力1 ch
出力%範囲設定	- mA
	出刀2ch
100% 20.000 mA	mA
0% 4.000 mA パークラン mA	
設定範囲は-4.000mA~24.000mAです。(精度保証範囲:最大出力レンジ内)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-16.

- ●機器の [最大出力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている [ローレベルカット]を表示します。
 - ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00%です。
- ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。
 ●機器に設定されている[起動遅延時間]を表示します。
 - ・設定を変更することができます。0~99秒まで指定できます。
 - ・起動遅延時間とは機器の電源投入から出力開始までの時間を遅らせる 機能です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
- ●機器に設定されている [出力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大出力レンジにより変化します。
 - ・画面の例では「設定範囲は-4.000mA~24.000mAです」と表示されています。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大出力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大出力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 wspa設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch %
アナログ出力	
最大出力レンジ 0.0mA~20.0mA	
□ □ □ レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
	出刀1 ch
	- mA
出力%範囲設定	出力2ch
	- %
100% 20.000 mA	_ mA
0% 10.000 mA	
-100% 0.000 mA バークラノ更新	
設定範囲は-4.000mA~24.000mAです。(精度保証範囲:最大出力レンジ内)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-17.

- ・製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により出力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により出力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※2出力の場合は2 c h 出力タブが表示されます。

2 ch出力タブにて1 ch出力タブと同様の設定が可能です。 ※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

iew WSPA設定ツール		
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)		
製品情報 入力設定 変換 演算 出力設定 模擬入出力	ファイル情報	デ ータモニタ
入力1ch ● % ○ V 模擬入力 (-120.00~120.00)	出力1ch ● % ○ mA 模擬出力 (-120.00~120.00)	入力1ch % V
	出力2ch ● % 〇 mA 模擬出力 (-120.00~120.00)	出力1 ch % mA 出力2 ch % mA
		データモニタ

図 4-18.

- ●模擬入力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%指定の場合-20~120%
 - ・実量値指定の場合、最大入力レンジの下限値-20%~上限値+20% の値となります。
 - ※製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
- ●模擬出力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%指定の場合-20~120%
 - ・実量値指定の場合最大出力レンジの下限値-20%~上限値+20%の 値となります。
 - ※製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合 は設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
- ●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって模擬的に入力 または出力を行うことができます。
 - ・模擬入力または模擬出力中は<模擬入力中>または <模擬出力中>となります。



※2 出力の場合は出力 2ch の模擬出力設定ボタンが表示されます。

※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。

⑥データモニタ	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	\square
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % □ ○ V (-120.00~120.00) 出力1ch ● % □ ○ mA (-120.00~120.00)	入力1 ch 0.00 % 0.000 V
出力2ch ● % ○ mA 模擬出力 (-120.00~120.00)	出力1 ch 0.00 % 4.000 mA 出力2 ch 0.00 % 4.000 mA
	データモニタ中

図 4-19.

 <データモニタ>を押すと、表示が<データモニタ中>となり、 現在の入力値、出力値をリアルタイムで%データ、 実量値データを表示します。
 ●データモニタ中に<データモニタ中>を押すと、表示が

<データモニタ>になり、データの表示は停止します。 ※2 出力の場合は出力 2ch が表示され、データをモニタできます。 ※設定によっては定格の 120%以上の表示が出力値として表示され ますが、実際の出力は定格の 120%が上限値となっています。

	$\mathcal{O}\mathcal{I}$	アー	<i>JU</i>	旧节
--	--------------------------	----	-----------	----

WSPA設定ツール			-		×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)					
シバル() シスピン() ・(の)(1) 製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 タイトル① (半角30文字まで。) タイトル② (半角30文字まで。) 作成者 (半角30文字まで。)	27イル情報 全角15文字まで。カンマは使用 2月15文字まで。カンマは使用 2月15文字まで。カンマは使用 2月15文字まで。カンマは使用	できません。) できません。) できません。)	データモニタ 入力1 ch	- % - V	6
日付 (半角30文字まで。) ファイル名 コメント	≧角15文字まで。かンマは使用	できません)	出力2ch	- % - m - % - m	ό IA δ IA
(半角100文字まで	全角50文字まで。カンマは使用	用できません)	データ	モニタ	
	図 4-20.				

●ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定すること ができます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面に 情報が表示されます。

WSPA設	定ツール	- 🗆 ×
ファイル(F)	環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報	入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
製品名称	2入力演算器	%
製品形式	WSPA-F2ALW-03DD-AX-14GG00	V
製造番号	18LA000245	-%
バージョン	1.00	出力1 ch
442	(半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	% mA
-%演算	229	出力2ch
۲	0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う)	- mA
0	100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う)	
	設定書き込み 設定読み出し	

図 4-21

●機器の[製品形式]、[製造番号]、[バージョン]を表示します。

●機器に設定されている [コメント] を表示します。

●機器にコメントを設定することができます。

最大文字数:半角 16 文字、全角 8 文字(カンマは使用できません) ●機器に設定されている[%演算レンジ]を表示します。

● 機器に設定されている「20(((ホレンジ)」を気がします。
 ・0%~100%(入力/出力を 0~100%として扱う)
 動作概要・入力 出力が 0~100%の範囲で扱われる

動下帆安・八八、	
入力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
出力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
-100%~100%(入力)	/出力を-100~100%として扱う)
動作概要:入力、	出力が-100~0~100%の範囲で扱われる。
入力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
	自動的に-100%に相当する値
出力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
	自動的に-100%に相当する値

※ローレベルカットは無効になります。

●<設定書き込み>により[コメント]と[%演算レンジ]を機器へ設定 することができます。

●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※1台の機器への設定操作を完了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

②入力設定	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力 2ch入力	入力1 ch%
· ምታログ入力	- V
最大入力レンジ -10.0V~10.0V	λ th2ch
入力フィルター	- %
○ フィルタ処理なし	- V
● 移動平均処理	出力1 ch
	- %
□ □-レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	_ mA
	出力2ch
入力%範囲設定	- 70 - mA
100% 10.000 V 現在入力値取得	
0% 0.000 V 現在入力値取得 パーガラフ更新	
設定範囲(t_12,000)/~12,000)/77支 (特度保証範囲・長大) カレンパな)	
BK/C#C/2004 - 12.0004 - 12.0004 - 3.0000 - 3.0000 - 10.0000	データモニタ
設定書き込み 設定読み出し	
「 」 「 」 、 」 、 」 、 」 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	

図 4-22.

●機器の [最大入力レンジ]を表示します。

●機器に設定されている [入力フィルタ] を表示します。

<フィルタ処理なし>か<移動平均処理>を選択します。
 フィルタ処理無し:4.58ms 毎に8回分の移動平均処理を

しています。

- 移動平均処理 : 4.58ms 毎に <u>24 回分</u>の移動平均処理を しています。
- ・移動平均処理を設定することで入力値を安定させることができます。
 ●機器に設定されている [ローレベルカット] を表示します。
 - ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00% です。
 - ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。

●機器に設定されている [入力%範囲設定]を表示します。

- ・設定可能範囲は最大入力レンジにより変化します。
 - ・画面の例では「設定範囲は-12.000V~12.000Vです」と表示されて います。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - <現在入力値取得>により現在の入力値を使用することもできます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大入力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大入力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力 2ch入力	入力1 ch
アナログ入力	- V
最大入力レンジ -10.0V~10.0V	1 72ab
入力フィルタ	- %
	_ V
 移動平均処理 	业力1 cb
	- %
ローレベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	_ mA
	出力2ch
入力%範囲設定	- %
	mA
100% 10.000 V 現在入力値取得	
0% 5.000 V 現在入力値取得	
-100% 0.000 V バークラフ更新	
設定範囲は-12.000V~12.000Vです。(精度保証範囲:最大人力レンジ内)	データモニタ
設守事ない ユ 熱空誌コ 中日	
設定音さ込め、自我に読みの出し	

図 4-23.

- ・製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により入力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により入力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※2入力の場合は2 c h入力タブが表示されます。

2 ch入力タブにて1 ch入力タブと同様の設定が可能です。 ※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

③変換·演算



- ●機能1、2、3、4、6,7 下記の演算を設定することができます。
 ・「4.3.3.1 リニアライズ(20点)」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.2 レシオ・バイアス」を参照ください。
 - ・「4.3.3.3 一次遅れ応答」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.4 傾斜応答」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.5 開平」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.6 リバーサ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.11 ローモニタ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.10 ハイモニタ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.12 偏差モニタ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.13 変化率モニタ」を参照ください。
 - ・「4.3.3.14 ハイローリミッタ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.15 変化率リミッタ」 を参照ください。
 - ・「4.3.3.18 スケーリング(機能3のみ)」を参照ください。
 - 「4.3.3.16 プリセット」を参照ください。
 - ・「4.3.3.17 ソフトプリセット」を参照ください。
●機能5 下記の内容を設定することができます。

- ・「4.3.3.19 ハイセレクタ」 を参照ください。
- ・「4.3.3.20 ローセレクタ」 を参照ください。
- ・「4.3.3.21 加減算」 を参照ください。
- ・「4.3.3.22 乗算」 を参照ください。
- ・「4.3.3.23 除算」 を参照ください。
- ・「4.3.3.24 スイッチセレクタ」 を参照ください。
- ・「4.3.3.25 ソフトスイッチセレクタ」 を参照ください。
- ・「4.3.3.26 温度補正」 を参照ください。
- ・「4.3.3.27 圧力補正1」を参照ください。
- ・「4.3.3.28 圧力補正2」を参照ください。

※平均処理を演算したい場合は、加減算を選択して 1ch入力 50%+2ch入力 50% を設定してください。

- ※プルダウンメニューで機能を選択するとアイコンの表示が 変わります。
- ※アイコンをクリックすることで選択した機能の設定画面を表示する ことができます。説明画面については各演算のページを参照して ください。

※各演算において、前の演算から機能の動作指示を受ける場合は "DI"と表示しています。(最初の演算については"DI"の表示 はしません。DI=FALSEとなります) 演算結果を次の演算の動作指示として扱うことができる場合は "DO"と表示します。

- "DI"がどのように働き、"DO"がどのような値になるか、 各演算画面の説明を参照してください。
- ●<設定書き込み>により変換・演算設定の内容を機器へ設定すること ができます。
- ●<設定読み出し>により変換・演算設定の内容を機器から読み出す ことができます。

④出	力	設	定	

WSPA設定ツール	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch
アナログ出力	V
最大中力Live" 0.0mA~20.0mA	
	人力2ch %
ローレベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	V
#2#5/第250年8月 0 (00:00)	
後に第000年火圧の中(ma) ◇ Sec (0, ~9958c)	出力1 ch
	- mA
出力%範囲設定	Ψ ±12 сh
	- %
100% 20.000 mA	mA
0% 0.000 mA	
バークラフ更新	
設定範囲は-4.000mA~24.000mAです。(精度保証範囲:最大出力レンジ内)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-25.

- ●機器の [最大出力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている [ローレベルカット]を表示します。
 - ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00%です。
 - ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。
- ●機器に設定されている [起動遅延時間]を表示します。
 - ・設定を変更することができます。0~99秒まで指定できます。
 - ・起動遅延時間とは機器の電源投入から出力開始までの時間を遅らせる 機能です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
- ●機器に設定されている [出力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大出力レンジにより変化します。
 - ・ 画面の例では「設定範囲は-4.000mA~24.000mA です」と表示されて います。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大出力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大出力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch
	- 70
$B \pm \mu \pm 1 \times 3$ $0.0 \text{mA} \sim 20.0 \text{mA}$	
	入力2ch
□ □-レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	- V
起動運延時間 0 sec (0~99sec)	出力1 ch
	- ^y 0
出力%範囲設定	
	出力2ch
100% 20.000 mA	- mA
0% 10.000 mA	
-100% 0.000 mA パーグラフ更新	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-26.

- ・製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により出力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により出力設定の内容を機器から読み出すことができます。

 ※2出力の場合は2ch出力タブが表示されます。
 2ch出力タブにて1ch出力タブと同様の設定が可能です。
 ※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

⑤模擬入出力	
國WSPA 設定ツール	- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % (-120.00~120.00) 上力1ch ● % ○ mA (-120.00~120.00) (-120.00~120.00)	入力1 ch - % - V 入力2 ch - %
入力2ch ● % ○ V 模擬入力 (-120.00~120.00) 出力2ch ● % ○ mA (#擬出力 (-120.00~120.00)	出力1 ch - % - mA 出力2 ch - mA
	データモニタ

図 4-27.

- ●模擬入力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%の場合-20~120%
 - ・実量値指定の場合最大入力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値 となります。
 - ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合 は設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
- ●模擬出力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%の場合-20~120%
 - ・実量値指定の場合最大入力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値 となります。
 - ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合 は設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
- ●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって模擬的に入力 または出力を行うことができます。
 - ・模擬入力または模擬出力中は表示が<模擬入力中>または
 <模擬出力中>となります。



※2 出力の場合は出力 2ch の模擬出力設定ボタンが表示されます。

※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。

⑥データモニタ	
 wspa設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	\square
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	- データモニタ
製品名称 2入力演算器	人力1 ch -20.00 %
製品形式 WSPA-F2ALW-03DD-AX-14GG00	-2.400 V
製造番号 18LA000245	人刀2ch -20.00 %
パージョン 1.00	0。
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	-20.00 % -4.000 mA
%演算レンジ	出力2ch
● 0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う)	-20.00 %
○ -100%~100% (入力/出力を-100~100%として扱う)	4.000
設た省さ込のとしていたののにし	データモニタ中

図 4-28.

●<データモニタ>を押すと、表示が<データモニタ中>となり、現在の入力値、出力値をリアルタイムで%データ、実量値データを表示します。
●データモニタ中に<データモニタ中>を押すと、表示が
<アータモニタ>になり、データの表示は停止します。
※2出力の場合は出力 2ch が表示され、データをモニタできます。
※設定によっては定格の 120%以上の表示が出力値として表示され

ますが、実際の出力は定格の 120%が上限値となっています。

⑦ファイル情報

 WSPA設定ツール 		- 🗆 X
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ	(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 タイトルの タイトル2 作成者 日付 ファイル名	 出力設定 模擬入出力 ファイル情報 (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。) (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。) (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。) (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。) 	データモニタ 入力1 ch - % 人力2 ch - V 出力1 ch - % - mA
אכאב	(半角100文字まで。全角50文字まで。カンマは使用できません)	出力2ch % mA mA
	题 1-20	1

●ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定すること ができます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面 に情報が表示されます。

4.3.2.3 警報設定器 ①製品情報	
國 WSPA 設定ツール	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(<u>H</u>)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
製品名称 警報設定器	人力1 ch %
製品形式 WSPA-FHL-03R-AX-15AC	V
製造番号 18LA000248	
パージョン 1.00	出力1 ch
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	_
%演算レンジ	出力2ch
● 0%~100% (入力/出力を0~100%として扱う)	
○ -100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う)	
	警報状態:赤色 復帰状態:白色
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-30.

●機器の [製品形式]、 [製造番号]、 [バージョン]を表示します。 ●機器に設定されている [コメント] を表示します。 ●機器にコメントを設定することができます。 最大文字数:半角 16 文字、全角 8 文字(カンマは使用できません) ●機器に設定されている「%演算レンジ」を表示します。 ・0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う) 動作概要:入力、出力が 0~100%の範囲で扱われる。 入力%範囲調整 100%に設定した値が100% 0%に設定した値が 0% 出力%範囲調整 100%に設定した値が100% 0%に設定した値が 0% ・-100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う) 動作概要:入力、出力が-100~0~100%の範囲で扱われる。 入力%範囲調整 100%に設定した値が100% 0%に設定した値が 0% 自動的に-100%に相当する値 出力%範囲調整 100%に設定した値が100% 0%に設定した値が 0% 自動的に-100%に相当する値 ※ローレベルカットは無効になります。

- ●<設定書き込み>により[コメント]と[%演算レンジ]を機器へ設定 することができます。
- ●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます。

②入力設定	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch %
アナログ入力	- V
最大入力レンジ -10.0V~10.0V	
○ フィルタ処理なし	
 ⑥ 移動平均処理 	Ψ.±1.ob
	-
□□-レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
	出力2ch
入力%範囲設定	_
100% 10.000 V 現在入力値取得	警報状能·击色
0% 0.000 V 現在入力値取得	復帰状態:白色
バークラフ更新	
設定範囲は-12.000V~12.000Vです。(精度保証範囲:最大入力レンジ内)	デ ータモニタ
設定者で込み	

図 4-31.

●機器の [最大入力レンジ]を表示します。

- ●機器に設定されている[入力フィルタ]を表示します。
 ・<フィルタ処理なし>か<移動平均処理>を選択します。
 フィルタ処理無し:4.58ms 毎に8回分の移動平均処理を
 - ノイルタ処理無し: 4.38ms 毎に <u>8 回分</u>の移動平均処理を しています。
 - 移動平均処理 : 4.58ms 毎に <u>24 回分</u>の移動平均処理を しています。
- 移動平均処理を設定することで入力値を安定させることができます。
 ●機器に設定されている [ローレベルカット] を表示します。
- ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00% です。
- ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。
- ●機器に設定されている [入力%範囲設定]を表示します。
- ・設定可能範囲は最大入力レンジにより変化します。
 - ・ 画面の例では「設定範囲は-12.000V~12.000V です」と表示されて います。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - <現在入力値取得>により現在の入力値を使用することもできます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大入力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大入力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

🮯 WSPA設定ツール	- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
アナログ入力	- V
最大入力レンジ -10.0V~10.0V	
入力フィルタ	
○ フィルタ処理なし	
 移動平均処理 	_出力1 ch
□□−レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
人力%範囲設定	
100% 10.000 V 現在入力値取得 0% 0.000 V 現在入力値取得 -100% -10.000 V パーグラフ更新	警報状態:赤色 復帰状態:白色
	データモニタ
設定書き込み 設定読み出し	

図 4-32.

- ・製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により入力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により入力設定の内容を機器から読み出すことが できます。
- ※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

変換・演算		
國 WSPA設定ツール		- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)		
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力	コ ファイル情報	データモニタ
警報設定器 処理なし 一次遅れ応答 (N 96)	1ch警報設定 警報方向上方向 学報服反転 警報設定値(%) 80.0 (80.0 (50.0)) (50.0 (50.0) (50.0 (50.0)) (50.0 (50.0)) (50.0) (50.0) (50.0) (50.0) (50.0)	入力1 ch % V
	管報過運延時間(sec) 0 (0~999) 復帰退延時間(sec) 0 (0~999) 2ch警報設定 警報方向 管報方向	出力1 ch
	警報設定値(%) (20.0 (-120.0~120.0) (-22.0~120.0) 第40594% (27.5)又有4(%) (0.2 (0.0~120.0) 第40594% (96) (0.2 (0.0~120.0) (0.2	出力2ch
	言和近处。416768C2)0 (0~393) (製學)遵延時間(sec)0 (0~999)	警報状態:赤色 復帰状態:白色
「イエンをクリックすると話すこ、または話見り目的面を表示します。	設定書き込み 設定読み出し	データモニタ
機能1 機能2 機能3 図	機能 4 4-33	

- ●機能1 リニアライズ(100 点)を設定することができます。
 4.3.3.1 リニアライズ(20 点)、リニアライズ(100 点)」
 を参照ください。
- ●機能2 一次遅れ応答を設定することができます。 4.3.3.3 一次遅れ応答」を参照ください。
- ●機能3 起動遅延を設定することができます。
 - ・起動後警報発生までの遅延を設定することができます。
 設定範囲は 0~99 秒です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
- ●機能4 1ch 警報設定を設定することができます。
 - ・警報方向を上方向、下方向から選択することができます。
 - ・警報設定値:警報を発生させる値を設定することができます。 設定範囲は-120.0~120.0%(小数点以下1桁)です。
 - ・警報解除ヒステリシス幅:警報解除の不感帯を設定することが できます。
 - ・設定範囲は 0.0~120.0% (小数点以下 1 桁) です。
 - ・警報遅延時間:警報発生後指定時間出力を遅延することが できます。
 - 設定範囲は 0~999 秒です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
 - ・復帰遅延時間:警報復帰時の遅延時間を設定することができます。 設定範囲は 0~999 秒です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
 - ・警報反転:出力信号を反転させる設定をすることができます。

※2ch 警報器の場合、2ch 警報設定にて設定することができます。

※プルダウンメニューで機能を選択するとアイコンの表示が 変わります。

- ※アイコンをクリックすることで選択した機能の設定画面を
 - 開くことができます。説明画面については各演算のページを参照 してください。
- (起動遅延、警報設定のアイコンは設定画面がありません)
- ●<設定書き込み>により変換・演算の設定の内容を機器へ設定すること ができます。
- ●<設定読み出し>により変換・演算の設定の内容を機器から読み出す ことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。

※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

④出力設定	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	人力1 ch %
警報出力	- V
出力タイプ リレー接点 ?	
	出力1 ch
	_
	出力2ch
	警報状態:赤色 復帰状態:白色
	12/10/17/351-11-1
	データエータ
設た者さ込の 設たれの正し	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

図 4-34.

●警報出力の出力タイプを表示します。 ※2出力の場合は2ch出力タブが表示され、出力タイプが確認できます。 ※<設定書き込み>、<設定読み出し>はできません。

刨 説明画面			-		×
警報出力種別					
■出力種別■					^
各出力の種類によっ ⁻ 以下のようになりま	てON出力、OFF出力 す。	1したとき出力端子間の動作は			
	ON時	OFF時			
オープンコレクタ リレー接点	ON(短絡) ON(短絡)	OFF(開放) OFF(開放)			
JU IAM	ON VENDY	011 (1910/)			
					\vee
				0.14	_
				υĸ	

●<?>を押すことで警報出力種別の説明画面を開くことができます。

図 4-35.

各出力の種類によって ON 出力、OFF 出力したとき出力端子の動作は 以下のようになります。

	ON 時	0FF 時
オープンコレクタ	ON(短絡)	OFF(開放)
リレー接点	ON(短絡)	OFF(開放)

⑤模擬入出力		
 WSPA設定ツール 		- 🗆 X
ファイル(<u>F</u>) 環境設定(<u>C</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力	ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % ○ V 模擬入力 (-120.00~120.00)	出力1ch 模擬出力 (ON/OFF)	入力1 ch % V
	出力2ch 模擬出力 (ON/OFF)	出力1 ch
		警報状態:赤色 復帰状態:白色 データモニタ

図 4-36.

 ●模擬入力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、実量値指定の場合 最大入力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値となります。
 ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。

 ●模擬出力する値を「ON」または「OFF」で設定します。
 ●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって 模擬的に入力または出力を行うことができます。
 模擬入力または模擬出力中は表示が<模擬入力中>または
 <模擬出力中>となります。



※2 出力の場合は出力 2ch の模擬出力設定ボタンが表示されます。

※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。

⑥デ	ータモニタ		
	 WSPA設定ツール 		- 🗆 ×
	ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)		
	製品情報 入力設定 変換·演算 出力設定 模擬入出力	ファイル情報	データモニタ
	入力1ch ● % (-120.00~120.00) (-120.00~120.00)	出力1ch 模擬出力 (ON/OFF)	入力1ch 0.000% 0.0000V
		出力2ch 【版出力 (ON/OFF)	出力1 ch OFF 出力2 ch ON
			警報状態:赤色 復帰状態:白色 データモニタ中

図 4-37.

- ●<データモニタ>を押すと、表示が<データモニタ中>となり、 現在の入力値を%データ、出力値を ON/OFF データとして 表示します
- ●警報が発生すると出力のテキストボックスが赤色になります 復帰すると出力のテキストボックスが白に戻ります。
- ●データモニタ中に<データモニタ中>を押すと、表示が <データモニタ>になり、データの表示は停止します。 ※警報状態のときは、データ表示部分が赤色、

警報復帰のときは、データ表示部分が白色になります。

⑦ファイル情報

		- ×
	ta s	
ノアイル(E) 境現設定(<u>C</u>) ヘルノ		
製品情報 入力設定 変換・演算 タイトル① タイトル②	出力設定 模擬入出力 ファイル情報 (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。) (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	→ ダビ_ダ 入力1 ch % V
作成者	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	出力1 ch
ロ11 ファイル名	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません)	
אנאב		出刀2ch
,	、(半角100文字まで。全角50文字まで。カンマは使用できません)	警報状態:赤色 復帰状態:白色
		データモニタ
	図 4-38.	

●ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定することが できます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面に情報 が表示されます。

4.3.2.4 直流/パルス変換器 ①製品情報	
 3 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
製品名称 直流/パルス変換器	%
製品形式 WSPA-FVF-03J-AX-15	V
製造番号 18LA000253	
パージョン 1.10	박 1 1 ch
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	% Hz
%演算レンジ	
● 0%~100% (入力/出力を0~100%として扱う)	
○ -100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-39.

●機器の[製品形式]、[製造番号]、[バージョン]を表示します。

- ●機器に設定されている [コメント]を表示します。
- ●機器にコメントを設定することができます。

.

- 最大文字数:半角 16 文字、全角 8 文字(カンマは使用できません) ●機器に設定されている[%演算レンジ]を表示します。
- ・0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う) 動作概要・入力 出力が0~100%の範囲で扱われる

助ド帆女・ハハ、	
入力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
出力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
-100%~100% (入力)	/出力を-100~100%として扱う)
動作概要:入力、	出力が-100~0~100%の範囲で扱われる。
入力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
	自動的に-100%に相当する値
出力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
	自動的に-100%に相当する値

- ※ローレベルカットは無効になります。
- ●<設定書き込み>により[コメント]と[%演算レンジ]を機器へ設定 することができます。
- ●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます。

2

入力設定	
. 💩 WSPA設定ツール	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
アナログ入力 最大入力レンジ -10.0V~10.0V	V
 ヘ フィルタ処理なし ● 移動平均処理 	出力1 ch%
□□-レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	Hz
入力%範囲設定	
100% 10.000 V 現在入力値取得 0% 0.000 V 現在入力値取得 現在入力値取得 パーグラフ更新 設定範囲は−12.000V~12.000Vです。(精度保証範囲:最大入力レンジ内)	デ 一タモニタ
設定書き込み 設定読み出し	

- 赵 4-40.
- ●機器の [最大入力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている [入力フィルタ] を表示します。
 - <フィルタ処理なし>か<移動平均処理>を選択します。
 フィルタ処理無し:4.58ms 毎に8回分の移動平均処理を
 - 71ルタ処理無し: 4.50ms 毎に <u>6回方</u>の移動平均処理をしています。

 移動平均処理

 : 4.58ms 毎に 24 回分の移動平均処理を
 - 移動平均処理 : 4.58ms 毎に <u>24 回分</u>の移動平均処理を しています。
 - 移動平均処理を設定することで入力値を安定させることができます。
- ●機器に設定されている[ローレベルカット]を表示します。
 ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00% です。
 - ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。
- ●機器に設定されている [入力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大入力レンジにより変化します。
 - ・ 画面の例では「設定範囲は-12.000V~12.000V です」と表示されて います。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - ・<現在入力値取得>により現在の入力値を使用することもできます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大入力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大入力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 wspa設定ツール 	– 🗆 X
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニター
1ch入力	入力1 ch
ፖታወሻ入力	- 70 V
最大入力レンジ -10.0V~10.0V	
 入力フィルター	
 ⑥ 移動平均処理 	ш т а - ь
	_%
ローレベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	Hz
入力%範囲設定	
100% 10.000 V 現在入力値取得	
0% 5.000 V 現在入力値取得	
-100% 0.000 V パーグラフ更新	
設定範囲は-12.000V~12.000Vです。(精度保証範囲:最大入力レンジ内)	データモニタ
設定書き込み 設定読み出し	

図 4-41.

- ・製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により入力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により入力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。



④出力設定	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力	入力1 ch%
パルス出力	V
ローレベルカット 0.000002 Hz (0.000002~12000.0Hz) 起動遅延時間 0 sec (0~99sec)	出力1 ch
出力%範囲設定	
100% 2000.00 Hz 0% 0.000000 Hz がーグラフ更新 設定範囲(10,000000Hz~12000,0Hzです。(雑度保証範囲:0,00278HzES~2000HzES)	
設定書き込み 設定書き込み	データモニタ

図 4-43.

●機器の [最大出力レンジ]を表示します。

●機器に設定されている [ローレベルカット] を表示します。

- ・0.000002~100000Hz(有効桁6桁)まで指定できます。
 ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。
- ●機器に設定されている [起動遅延時間]を表示します。
 - ・設定を変更することができます。0~99秒まで指定できます。
 - ・起動遅延時間とは機器の電源投入から出力開始までの時間を 遅らせる機能です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
- ●機器に設定されている [出力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大出力レンジにより変化します。
 - ・ 画面の例では「設定範囲は 0.000000Hz~12000.0Hz です (精度保証範囲: 0.00278HzF.S.~2000Hz.F.S.)」と表示 されています。
 - ・「100%」と[0%]の値を設定します。
 - ・有効桁6桁まで設定できます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大出力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大出力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。
 ※OHz 以下は OHz になります。

注意 出力周波数の設定が 5Hz 以下の場合、単位パルス出力となり ワンショット 100ms の出力固定になります。

- ・設定ツールを使用しても変更が出来ません。
- ・設定内容が無効になりますのでご注意ください。
 - また、ワンショット無接点出力の仕様の場合も同様です。

·····································	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換·演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力	入力1 ch
パルス出力	V
1ch最大出力レンジ 0.000000Hz~10000.0Hz 5Vパルス出力 ?	v
ローレベルカット 0.000002 Hz (0.000002~12000.0Hz)	
	出力1 ch
起動運延時間 0 sec (0~99sec)	- %
出力%範囲設定	- Hz
100% 2000 00 Hz	
0% 1000 00 Hz	
-100% 0.000000 Hz パーグラフ更新	
設定範囲は0.000000Hz~12000.0Hzです。(精度保証範囲:0.00278HzF.S.~2000HzF.S.)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-44.

 ●製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ●<?>を押すことでパルス出力種別の説明画面を開くことができます。

? >を押す	ことで	パルス出力種	国の説明	画面	を
🥶 説明画面			_		\times
パルス出力種別					
■出力種別■					^
各出力の種類によ 以下のようになり	ってON出力、OFFと ます。	出力したとき出力端子間の	動作は		
	ON時	OFF時			
オーブンコレクタ 無接点出力	ON(短絡) ON(短絡)	OFF(開版) OFF(開版)			
5V電圧バルス 12V電圧バルス	0V 0V	5V 12V			
無電圧接点出刀	UN(短裕)	UFF(開版文)			
					~
			ſ	0.14	_
				ΟK	

図 4-45.

- ●<設定書き込み>により出力設定の内容を機器に設定することができます。
- ●<設定読み出し>により出力設定の内容を機器から読み出すことができます。

※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。

※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

⑤模擬入出力	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % (-20.00~120.00) 上力1ch ● % ○ % ○ % ○ % ○ % ○ % ○ % ○ % ○	入力1 ch % V
	出力1 ch % Hz
	データモニタ

図 4-46.

- ●模擬入力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、
 - ・実量値指定の場合最大入力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値 となります。
 - ※製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
- ●模擬出力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、
 - ・実量値指定の場合最大出力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値と なります。
- ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。 ※ただし 0Hz 以下は 0Hz になります。
- ●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって 模擬的に入力または出力を行うことができます。 模擬入力または模擬出力中は表示が<模擬入力中>または <模擬出力中>となります。



※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。 ※フルスケールが5Hz以下の場合はデータモニタ機能は使用 できません。

⑥デ	ータモニタ	
	 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
	ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	\bigcap
	製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
	入力1ch ● % (-20.00~120.00) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	人力1 ch 0.000 % 0.000 V
		出力1 ch 0.000 % 0.000000 Hz
		データモニタ中

図 4-47.

- ●<データモニタ>を押すと、表示が<データモニタ中>となり、 現在の入力値、出力値をリアルタイムで%データ、 実量値データを表示します。
- ●データモニタ中に<データモニタ中>を押すと、表示が
 <データモニタ>になり、データの表示は停止します。
 ※設定によっては定格の 120%以上の表示が出力値として表示されますが、実際の出力は定格の 120%が上限値となっております。

$\overline{7}$	ア	イ	ル	情報
U -			10	

「WSPA設定ツール		
ファイル(F) 環境設定(C) へ	ルプ(H)	
品情報 入力設定 変換・減	第二 当 力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ 入力1 ch
タイトル①		- %
タイトル②	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	0
	└────────────────────────────────────	
作成者	(半角3∩文字まで、全角15文字まで、カルフけ使用できません、)	
日付		出力1 ch
	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません)	Hz
27111-6		
אעאב		
	(半角100文字まで。全角50文字まで。カンマは使用できません)	
		<i>≓</i> _b∓=b
		J -9t_9

- ●ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定することが できます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面に情報 が表示されます。
- ※フルスケールが5Hz以下の場合はデータモニタ機能は使用できません。

4.3.2.5 パルス/直流変換器	
① 製品情報	
 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
製品名称 パルス/直流変換器	入力1 ch%
製品形式 WSPA-FLVW-14CC-AX-00PP	Hz
製造番号 18LA000249	
パージョン 1.00	出力1 ch
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	V
%演算レンジ	出力2ch
● 0%~100% (入力/出力を0~100%として扱う)	- %
○ -100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う)	v
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-49.

●機器の [製品形式]、 [製造番号]、 [バージョン]を表示します。 ●機器に設定されている [コメント]を表示します。 ●機器にコメントを設定することができます。 最大文字数:半角 16 文字、全角 8 文字(カンマは使用できません) ●機器に設定されている[%演算レンジ]を表示します。 ・0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う) 動作概要:入力、出力が 0~100%の範囲で扱われる。 100%に設定した値が100% 入力%範囲調整 0%に設定した値が 0% 出力%範囲調整 100%に設定した値が100% 0%に設定した値が 0% ・-100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う) 動作概要:入力、出力が-100~0~100%の範囲で扱われる。 入力%範囲調整 100%に設定した値が100% 0%に設定した値が 0% 自動的に-100%に相当する値 100%に設定した値が100% 出力%範囲調整 0%に設定した値が 0% 自動的に-100%に相当する値 ※出力のローレベルカットは無効になります。

- ●<設定書き込み>により[コメント]と[%演算レンジ]を機器へ設定 することができます。
- ●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます

※設定情報の書き込み時、10msec間0%出力をします。
 ※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
 ※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
 <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

1 WSPA設定ツール	- 🗆
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
ւパルス入力	
最大 λ カロへの。 0.000000Hz~100000Hz	
ハノノレルン (パルス入力のノイズやチャタリングの入力を取り除きます。	
● なし 1000セレトで正常に動作しません。その場合はなして設定してください。	
	出力1 ch
ローレベリオット 25,0000 Hz (0,00002~120000Hz)	
	五/J2cn _
人力%範囲設定	
10000.0 HZ 現在入力値取得	
○ 0.000000 □ □ 現在入力値補足 パーグラフ更新	
a又定率提出は0.000000m2 ~120000m2 C 7 % (相反)本計量提出 +0.0 m2 r.S. ~100000m2 r.S.)	データモニタ

図 4-50.

- ●機器の [最大入力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている[入力フィルタ]を表示します。<あり>にすることでノイズやチャタリングの入力を取り除くことができます。
- ●機器に設定されている [ローレベルカット] を表示します。 設定範囲は 0.000002~1200000H z となります。
- ●機器に設定されている [入力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大入力レンジによって変化します。
 - ・画面の例では「設定範囲は 0.000000Hz~1200000Hz です (精度保証範囲 0.01HzF.S.~100000HzF.S.)」と 表示されています。
 - ・[100%]と[0%]の値を設定します。有効桁6桁まで指定できます。
 - ・<現在入力値>により現在の入力値を使用することができます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大入力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大入力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。
 - ・赤いハーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。 ※ただし OHz 以下は OHz になります。

 3 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
パルス入力	Hz
最大入力レンジ 0.000000Hz~100000Hz - 入力フィルタ	
 ● なし パルス入力のノイズやチャタリングの入力を取り除きます。 ○ あり パルス入力のノイズやチャタリングの入力を取り除きます。 	出力1 ch
ローレベルカット 25.0000 Hz (0.000002~120000Hz)	- %
入力%範囲設定	出力2ch % V
100% 100000 Hz 現在入力値取得 0% 50000.0 Hz 現在入力値補足 -100% 0.000000 Hz パーグラフ更新 設定範囲は0.00000Hz~120000Hzです。(精度保証範囲:0.01HzF.S.)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-51.

- ●製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。 ※ただし OHz 以下は OHz になります。
- ●<設定書き込み>により入力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により入力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

- ※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
- ※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

3

変換・演算	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
- パルス→アナログ	入力1 ch % Hz
パルス平均化 PPUT M 96 M 96	出力1 ch % V 出力2 ch % V
アイコンをクリックすると設定、または説明画面を表示します。 設定書き込み 設定読み出し	データモニタ
機能1 機能2 機能3 図 4-52.	

●機能1 パルス平均化の設定をすることができます。 「4.3.3.30 パルス平均化」を参照ください。

●機能2 リニアライズ(100点)の設定をすることができます。
 「4.3.3.1 リニアライズ(20点)、リニアライズ(100点)」を
 参照ください。

●機能3 一次遅れ応答の設定をすることができます。 「4.3.3.3 一次遅れ応答」を参照ください。

※プルダウンメニューで機能を選択するとアイコンの表示が変わります。※アイコンをクリックすることで選択した機能の設定画面を開くことができます。画面にある設定項目を設定してください。

- ●<設定書き込み>により変換・演算の設定の内容を機器へ設定すること ができます。
- ●<設定読み出し>により変換・演算の設定の内容を機器から読み出す ことができます。

④出力設定	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch %
アナログ出力	Hz
最大出力レンジ -10.0V~10.0V	
□□□-レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
起動運延時間 0 sec (0~99sec)	出力1 ch
出力%範囲設定	% V 出力2ch
100% 10.000 V	- 70
0% 0.000 ∨ バーグラフ更新	
a気と単位四は「12,0009」12,0009です。(4時度1本6日第6回・62人口))レンジパン	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-53.

- ●機器の [最大出力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている[ローレベルカット]を表示します。
 ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値
- を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00%です。
- ・ローレベルカットとは、設定値未満を0%で出力します。
- ●機器に設定されている [起動遅延時間] を表示します。
 - ・設定を変更することができます。0~99秒まで指定できます。
 - ・起動遅延時間とは機器の電源投入から出力開始までの時間を遅らせる 機能です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
- ●機器に設定されている [出力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大出力レンジにより変化します。
 - ・ 画面の例では「設定範囲は-12.000V~12.000V です」と表示されて います。
 - ・ [100%] と [0%] の値を設定します。
 - 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - ・<バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大出力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大出力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

WSPA設定ツール	- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch
「アナログ出力	- Hz
最大出力レンジ -10.0V~10.0V	
□ □-レペルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
起動運延時間 0 sec (0~99sec)	出力1 ch
	- 70
出力%範囲設定	
	出刀2ch
100% 10.000 V	- V
0% 5.000 V	
-100% 0.000 V バーグラフ更新	
設定範囲は-12.000V~12.000Vです。(精度保証範囲:最大出力レンジ内)	
設定書き込み 設定読み	データモニタ

図 4-54.

- ・製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により出力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により出力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。

※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

⑤模擬入出力		
WSPA 設定ツール		- 🗆 ×
ファイル(<u>F</u>) 環境設定(<u>C</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力	ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % (-20.00~120.00) (-20.00~120.00)	出力1ch ● % (-20.00~120.00) 使擬出力	人力1 ch % Hz
	出力2ch ● % ○ V 模擬出力 (-20.00~120.00)	出力1 ch
		データモニタ

図 4-55.

- ●模擬入力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、実量値指定の場合 最大入力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値となります。
 ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
 ※ただし 0Hz 以下は 0Hz になります。
- ●模擬出力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、実量値指定の場合 最大出力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値となります。
 ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
- ●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって 模擬的に入力または出力を行うことができます。 模擬入力または模擬出力中は表示が<模擬入力中>または く模擬出力中>となります。



※2 出力の場合は出力 2ch の模擬出力設定ボタンが表示されます。

※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。

⑥データモニタ		
 WSPA設定ツール 		- 🗆 ×
ファイル(<u>F</u>) 環境設定(<u>C</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		\square
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力	ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % (-20.00~120.00)	出力1ch ● % (-20.00~120.00) ● V 模擬出力	入力1 ch 0.00 % 0.0000000 Hz
	出力2ch ● % ○ V 模擬出力 (-20.00~120.00)	出力1ch 0.000% 出力2ch 0.000%
		र्ग-क्रम्-क्रम

図 4-56.

- ●<データモニタ>を押すと、表示が<データモニタ中>となり、 現在の入力値、出力値をリアルタイムで%データ、 実量値データとして表示します。
- ●データモニタ中に<データモニタ中>を押すと、表示が
 <データモニタ>になり、データの表示は停止します。

※設定によっては定格の120%以上の表示が出力値として 表示されますが、実際の出力は定格の120%が上限値となっております。

$\overline{7}$	- ק	イル	情	報
		1 10		

WSPA設定ツール WSPA設定ツール Section Sect		- 🗆 🗙
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ	H)	
製品情報 入力設定 変換・演算	出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
<u></u> ቃብኑ <i>ከ</i> ወ	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	入力1 ch % Hz
夕1个儿②	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	
作成者	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	出力1 ch
日付	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません)	% V
		出力2ch %
	(半角100文字まで。全角50文字まで。カンマは使用できません)	
		データモニタ
	জ্যে ৫ ৪ 7	
	図 4-57.	

●ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定することが できます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面に 情報が表示されます。

ファイル(F) 環境設定(C) ヘルブ(H) 製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報 製品名称 ポテンショメータ変換器	データモニター
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報 製品名称 ポテンショメータ変換器	·
製品名称 ポテンショメータ変換器	
	%
製品形式 WSPA-FMSW-NDD-AX-U-00AA	
製造番号 18LA000250	
バージョン 1.00	出力1 ch
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	%
%演算レンジ	出力2ch
 0%~100% (入力/出力を0~100%として扱う) 	%
○ -100%~100% (入力/出力を-100~100%として扱う)	

図 4-58.

●機器の[製品形式]、[製造番号]、[バージョン]を表示します。

●機器に設定されている [コメント]を表示します。

●機器にコメントを設定することができます。

最大文字数:半角 16 文字、全角 8 文字(カンマは使用できません) ●機器に設定されている[%演算レンジ]を表示します。

・0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う) 動作概要:入力、出力が0~100%の範囲で扱われる。

入力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
出力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
-100%~100%(入力)	/出力を-100~100%として扱う)
動作概要:入力、	出力が-100~0~100%の範囲で扱われる。
入力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
	自動的に-100%に相当する値
出力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
	自動的に-100%に相当する値

※ローレベルカットは無効になります。

●<設定書き込み>により[コメント]と[%演算レンジ]を機器へ設定 することができます。

●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます。

iew WSPA設定ツール	- 🗆
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
ポテンショ入力	_
入力フィルタ	
○ フィルタ処理なし	
● 移動平均処理	出力1 ch
ローレベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	-
	出力2ch
入力%範囲設定	
	_
100% 100.000 % 現在入力値取得	
0% 0.000 % 現在入力値取得 パーグラフ更新	
設定範囲は-20.000%~120.000% です。(精度保証範囲:0.000%~100.000%)	データモニタ

図 4-59.

●機器の [最大入力レンジ]を表示します。

●機器に設定されている [入力フィルタ] を表示します。

・<フィルタ処理なし>か<移動平均処理>を選択します。

フィルタ処理無し:4.58ms 毎に 8 回分の移動平均処理を しています。

移動平均処理 : 4.58ms 毎に <u>24 回分</u>の移動平均処理を しています。

・移動平均処理を設定することで入力値を安定させることができます。
 ●機器に設定されている[ローレベルカット]を表示します。

- ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00% です。
- ・ローレベルカットとは、設定値未満を0%で出力します。
- ●機器に設定されている [入力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大入力レンジにより変化します。
 - ・ 画面の例では「設定範囲は-20.000%~120.000%です」と表示されて います。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - <現在入力値取得>により現在の入力値を使用することもできます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大入力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大入力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 wspa設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
ポテンショ入力	70
入力フィルタ 〇 フィルタ処理なし	
◉ 移動平均処理	出力1 ch
ローレベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	% mA
	出力2ch
- 入力%範囲設定	
100% 100.000 % 現在入力值取得	
0% <u>50.000</u> % 現在入力値取得	
-100% 0.000 % パークラノ更新	
設定範囲は-20.000%~120.000% です。(精度保証範囲:0.000%~100.000%)	データモニタ
設定書き込み 設定読み出	,

- 図 4-60.
- ・製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。

※入力%範囲設定は-20.000%~120.000%の範囲で設定可能ですが、 ポテンショの入力範囲は0~100%であるため、入力範囲外の設定を した場合、入力されない範囲が生じます。 下記の図は、レンジ100%に120%、レンジ0%に-20%を設定した時、 設定上のポテンショ入力範囲と実際のポテンショ入力範囲をあらわした ものです。 設定上、0~約14%、約86%~100%の範囲は入力されません。



- ●<設定書き込み>により入力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により入力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

③変換 • 演算	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 🗙
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
「 ポテンショ	入力1 ch%
<u>処理なし</u> N % OUT% OUT% OUT% OUT% OUT%	出力1 ch % mA 出力2 ch % mA
アイエンをクリックすると設定、または説明画面を表示します。 設定書き込み 設定読み出し	データモニタ
機能1 機能2	
図 4-62.	

- ●機能1 リニアライズ(100 点)の設定をすることができます。 「4.3.3.1 リニアライズ(20 点)、リニアライズ(100 点)」を 参照ください。
- ●機能2 一次遅れ応答の設定をすることができます。 「4.3.3.3 一次遅れ応答」を参照ください。

※プルダウンメニューで機能を選択するとアイコンの表示が変わります。※アイコンをクリックすることで選択した機能の設定画面を開くことができます。

- ●<設定書き込み>により変換・演算の設定の内容を機器へ設定すること ができます。
- ●<設定読み出し>により変換・演算の設定の内容を機器から読み出す ことができます。

④出力設定	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 🗙
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	人力1 ch %
アナログ出力	
最大出力レンジ 0.0mA~20.0mA	
□□−レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
起動運延時間 0 sec (0~99sec)	出力1 ch
出力%範囲設定	mA 出力2ch
100% 20.000 mA	- mA
0% 4.000 mA パーグラフ更新	
設定範囲は-4.000mA~24.000mAです。(精度保証範囲:最大出力レンジ内)	:
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-63.

- ●機器の [最大出力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている[ローレベルカット]を表示します。
 ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00%です。
 - ・ローレベルカットとは、設定値未満を0%で出力します。
- ●機器に設定されている [起動遅延時間]を表示します。
 - ・設定を変更することができます。0~99秒まで指定できます。
 - ・起動遅延時間とは機器の電源投入から出力開始までの時間を遅らせる 機能です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
- ●機器に設定されている [出力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大出力レンジにより変化します。
 - ・画面の例では「設定範囲は-4.000mA~24.000mAです」と表示されています。
 - ・ [100%] と [0%] の値を設定します。
 - 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - ・<バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大出力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大出力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

WSPA設定ツール	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
ポテンショ入力 入力フィルタ ○ フィルタ処理なし ● 移動平均処理	上力1 ch%
□ ローレベルカット 0.00 % (0.00~120.00%) 入力%範囲設定	
100% 100.000 % 現在入力値取得 0% 50.000 % 現在入力値取得 -100% 0.000 % パーグラフ更新 設定範囲は-20.000%~120.000% です。(精度保証範囲:0.000%~100.000%) 100.000%	データモニタ
設定書き込み 設定読み出し	

図 4-64.

- ●製品情報タブの[%演算レンジ]で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により出力設定の内容を機器に設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により出力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。

※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

⑤模擬入出力	
WSPA 設定ツール	- 🗆 X
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファ	イル情報 データモニタ
入力1ch ● % 【 【 】 【 機擬入力 【 (-20.00~120.00)	〕1ch ● % ○ mA 模擬出力
出力 [(-24	J2ch ・ % ・ mA 20.00~120.00) 世力2 ch ・ mA 出力2 ch ・ mA
	データモニタ

図 4-65.

 ●模擬入力する値を%指定で設定します。
 ・設定範囲は-20~120%となります。
 ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。

- ●模擬出力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、実量値指定の場合 最大出力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値となります。
 - ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
- ●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって
 - ・模擬的に入力または出力を行うことができます。
 ・模擬入力または模擬出力中は表示が<模擬入力中>または
 <模擬出力中>となります。



※2 出力の場合は出力 2ch の模擬出力設定ボタンが表示されます。

※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。
🔊 WSPA設定"ソール		
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)		
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 入力1ch ● % (-20.00~120.00) 模擬入力	〕 ファイル情報 出力1ch ● % (-20.00~120.00) のmA 模擬出力	データモニタ 入力1 ch BurnOut
	出力2ch ● % (-20.00~120.00) mA 模擬出力	出力1 ch 120.00 23200 出力2ch 120.00 23200
		データモニタ中

- 凶 4-66.
- ●<データモニタ>を押すと、表示が<データモニタ中>となり、 現在の入力値、出力値をリアルタイムで%データ、 実量値データとして表示します。
- ●データモニタ中に<データモニタ中>を押すと、表示が <データモニタ>になり、データの表示は停止します。

※バーンアウト発生時は、データ部分に「BurnOut」と表示されます。 単位は更新されません。

- ※設定によっては定格の120%以上の表示が出力値として表示されます が、実際の出力は定格の120%が上限値となっています。
- ⑦ファイル情報

品情報 入力設定 変換・演算	1 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
	A MARY PARTY AND PRAYING AND PARTY PARTY	入力1 ch
タイトル①		- %
	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	
タイトル②		
	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	
作成者		
	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	4
日付		五刀I cn
	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません)	_ m
ファイル名		# #2~b
1		- %
コメント		m
	(半月100又字まで。全月50又字まで。カンマは使用できません)	
		データモニタ

ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定することが できます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面に 情報が表示されます。

4.3.2.7 抵抗温度変換器 ①製品情報	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
製品名称 抵抗温度変換器	人力1 ch %
製品形式 WSPA-FRTW-FDD-AX-U-13AA	
製造番号 18LA000251	
パージョン 1.00	出力1 ch
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	% mA
%演算レンジ	出力2ch
◎ 0%~100% (入力/出力を0~100%として扱う)	- 70
○ -100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-68.

●機器の[製品形式]、[製造番号]、[バージョン]を表示します。
 ●機器に設定されている[コメント]を表示します。

●機器にコメントを設定することができます。

.

最大文字数:半角 16 文字、全角 8 文字(カンマは使用できません)

●機器に設定されている [%演算レンジ]を表示します。

0%~	~ 10	0%	,(入	カ/出	力を 0~100%として扱う)
	動作	巨根	〔要:	入力、	出力が 0~100%の範囲で扱われる。
	入力	J %	範囲	調整	100%に設定した値が 100%
					0%に設定した値が 0%
	出力	J %	範囲	調整	100%に設定した値が 100%
					0%に設定した値が 0%
-100	%~	- 10	00%	(入力/	/出力を-100~100%として扱う)
	動作	巨根	〔要:	入力、	出力が-100~0~100%の範囲で扱われる。
	入力	J %	範囲	調整	100%に設定した値が 100%
					0%に設定した値が 0%
					自動的に-100%に相当する値
	出力	J %	範囲	調整	100%に設定した値が 100%
					0%に設定した値が 0%
					自動的に-100%に相当する値

※ローレベルカットは無効になります。

●<設定書き込み>により[コメント]と[%演算レンジ]を機器へ設定 することができます。

●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。 ※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

1 WSPA設定ツール	- 🗆
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
測温入力	
最大入力レンジ -200℃~850℃ 単位(U) センサ種別 Pt100 ~ ○ 華氏	
入力フィルター	
〇 フィルタ処理なし	出力1 ch
◎ 移動平均処理	
	出力2ch
	-
入力%範囲設定	-
100% 800.00 [℃] 現在入力値取得 0% 0.00 [℃] 現在入力値取得	
パーグラフ更新	
設定範囲は−240.00℃~1020.00℃です。(精度保証範囲:最大入力レンジ内)	データモニタ
設定まれみ、設定読み出し	

図 4-69.

●機器の [最大入力レンジ]を表示します。

●機器に設定されている単位を表示します。

- ・単位を摂氏に指定している場合[最大入力レンジ]、[入力%範囲]、 [入力%範囲]は摂氏で表示されます。
- ・華氏に指定している場合、 [最大入力レンジ]、 [入力%範囲]、 [入力%範囲]は華氏で表示されます。
- ・単位を摂氏から華氏、または華氏から摂氏に変更した場合、
 入力%範囲の値はそれぞれ華氏、摂氏表示に切り替わります。
- ●機器に設定されているセンサ種別を表示します。
 - Pt100、JPt100 から選択できます。
- ●機器に設定されている入力フィルタを表示します。
 - ・<フィルタ処理なし>か<移動平均処理>を選択します。

フィルタ処理無し:4.58ms 毎に 8回分の移動平均処理を しています。

移動平均処理 : 4.58ms 毎に <u>24 回分</u>の移動平均処理を

しています。

- ・移動平均処理を設定することで入力値を安定させることができます。
 ●機器に設定されている[ローレベルカット]を表示します。
 - ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00%です。
 - ・ローレベルカットとは、設定値未満を0%で出力します。
 - ・設定値以下のデータは強制的に0%として扱います。
 - ※バーンダウンより優先します。

※データモニタが OFF の状態で摂氏華氏を変更して書き込みした時は、 データモニタの温度単位は更新されません。データモニタを ON すると 単位は更新されます。

※最大入力レンジの範囲外については直線補完された値になりますので、 精度保証外です。

- ●機器に設定されている入力%範囲を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大入力レンジによって変化します。
 - ・画面の例では「設定範囲は-240.00℃~1020.00℃です」と表示されています。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下 2 桁まで指定できます。
 - <現在入力値取得>により現在の入力値を使用することができます。
 - ・<バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大入力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大入力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

WSPA設定ツール	- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(Q) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
测温入力	- °C
最大入力レンジ -200℃~850℃ センサ種別 Pt100 ~ ○ 華氏	
入力フィルタ	
○ フィルタ処理なし	出力1 ch
◎ 移動平均処理	- %
	щ то_ь
	%
入刀%範囲設定	_ mA
100% 800.00 ℃ 現在入力値取得 0% 400.00 ℃ 現在入力値取得 -100% 0.00 ℃ パーグラフ更新	
設定範囲は−240.00℃~1020.00℃です。(精度保証範囲:最大入力レンジ内)	データモニタ
設定書き込み 設定読み出し	

図 4-70.

- ・製品情報タブの「%演算レンジ」で0%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値は表示されません。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により入力設定の内容を機器へ設定することができます。
- ●<設定読み出し>により入力設定の内容を機器から読み出すことが できます。
- ※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。
- ※華氏から摂氏に単位を変更した場合、0.001の誤差を生じる場合が あります。
- ※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
- ※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。
- ※単位を変更する場合は変更後書き込みを行ってから 設定を進めてください。

 wspa設定ツール 	
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニター
	入力1 ch - % 出力1 ch - % - m 出力2 ch
アイコンをクリックすると設定、または説明画面を表示します。 設定書き込み 設定読み出	ー」 m

図 4-71.

●機能1 一次遅れ応答の設定をすることができます。
 「4.3.3.3 一次遅れ応答」を参照ください。

※プルダウンメニューで機能を選択するとアイコンの表示が変わります。
※アイコンをクリックすることで選択した機能の設定画面を開くことができます。

- ●<設定書き込み>により変換・演算の設定の内容を機器へ設定すること ができます。
- ●<設定読み出し>により変換・演算の設定の内容を機器から読み出す ことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

 	-
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch
7+07出力	- 20
最大出力レンジ 0.0mA~20.0mA	·
□□-レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
起動運延時間 0 sec (0~99sec)	中中1 ch
	- %
	- mA
出力%範囲設定	出力2ch
100% 20.000 mA	- %
0% 4 000 mA	
バーグラフ更新	
設定範囲は-4.000mA~24.000mAです。(精度保証範囲:最大出力レンジ内)	
設定書き込み 設定読み出	。 データモニタ

図 4-72.

- ●機器の [最大出力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている [ローレベルカット] を表示します。
- チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00%です。
 - ・ローレベルカットとは、設定値未満を0%で出力します。
- ●機器に設定されている [起動遅延時間] を表示します。
 - ・設定を変更することができます。0~99秒まで指定できます。
 - ・起動遅延時間とは機器の電源投入から出力開始までの時間を遅らせる 機能です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
 - ・機器の起動に 5 秒の遅延が強制的に働くため、0~5sec は設定しても 実際の出力起動時間に変化はありません。

●機器に設定されている [出力%範囲設定]を表示します。

- ・設定可能範囲は最大出力レンジにより変化します。
 - 画面の例では「設定範囲は-4.000mA~24.000mAです」と表示されています。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大出力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大出力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニター
1ch出力 2ch出力 アナログ出力 最大出力レンジ 0.0mA~20.0mA	入力1 ch % ℃
□□-レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
起動遲延時間 0sec (0~99sec)	出力1 ch %
出力%範囲設定	出力2ch
100% 20.000 mA	mA
0% 10.000 mA	
-100% 0.000 mA パーグラフ更新	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-73.

- ・製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により出力設定の内容を機器に設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により出力設定の内容を機器から読み出すことができます。

※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。

※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

⑤模擬入出力		
 WSPA設定ツール 		- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(<u>H</u>)		
製品情報 入力設定 変換·演算 出力設定 模擬入出力	ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % (-20.00~120.00) 人力1ch (-20.00~120.00)	出力1ch ● % ○ mA 橫擬出力 (-20.00~120.00)	入力1 ch % ℃
	出力2ch ● % ○ mA 模擬出力 (-20.00~120.00)	出力1 ch mA mA % mA
		データモニタ

図 4-74.

- ●模擬入力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、

実量値指定の場合最大入力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値 となります。

- ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
- ※②の入力設定の単位を華氏に指定して設定書き込みを行った場合、 実量値の単位は華氏で表示されます。
- ※華氏表示時、実量値で模擬入力を行い、設定読み出しを行った場合、 模擬入力中の実量値が 0.01の誤差が生じる場合があります。
- ※最大入力レンジの範囲外については直線補完された値になります ので、精度保証外です。
- ●模擬出力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、
 - 実量値指定の場合最大出力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値 となります。
 - ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。

●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって 模擬的に入力または出力を行うことができます。 模擬入力または模擬出力中は表示が<模擬入力中>または く模擬出力中>となります。



※2 出力の場合は出力 2ch の模擬出力設定ボタンが表示されます。 ※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。

⑥データモニタ		
 WSPA設定ツール 		- 🗆 🗙
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)		$\left(\right)$
製品情報 入力設定 変換·演算 出力設定 模擬入出:	ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % ○ ℃ 模擬入力 (-20.00~120.00)	出力1ch ● % ○ mA 模擬出力 (-20.00~120.00)	入力1 ch BurnOut % BurnOut [°] C
	出力2ch ● % ○ mA 模擬出力 (-20.00~120.00)	出力1 ch 12000 % 23200 mA 出力2ch 12000 % 23200 mA
		データモニタ中

図 4-75.

- ●<データモニタ>を押すと、表示が<データモニタ中>となり、 現在の入力値、出力値をリアルタイムで%データ、 実量値データとして表示します。
- データモニタ中に<データモニタ中>を押すと、表示が
 <データモニタ>になり、データの表示は停止します。
- ※バーンアウト発生時は、データ部分に「BurnOut」と表示されます。 単位は更新されません。

※設定によっては定格の 120%以上の表示が出力値として表示されます が、実際の出力は定格の 120%が上限値となっています。

※②で入力設定の単位を華氏に指定して設定書き込みを行った場合、 実量値の単位は華氏で表示されます。

⑦ファイル情報

ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報 タイトル① (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。) タイトル② (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。) 作成者 (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。) 日付 (半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	データモニタ 入力1 ch - % - ℃ 出力1 ch - %
ファイル名 コメント	出力2ch % mA
(半角100文字まで。全角50文字まで。カンマは使用できません)	データモニタ

●ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定することが できます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面に 情報が表示されます。

4.3.2.8 熱電温度変換器 ①製品情報	
 39 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
製品名称 熱電温度変換器	ЛЛ1 ch
製品形式 WSPA-FTHW-KDD-AX-U-08AA	
製造番号 18LA000252	
バージョン 1.00	щ т а - ь
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	五刀1 cn % mA
%演算レンジ	出力2ch
● 0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う)	mA
○ -100%~100%(入力/出力を-100~100%として扱う)	
設定書き込み 設定読み出し	
	データモニタ

図 4-77.

●機器の [製品形式]、 [製造番号]、 [バージョン]を表示します。

- ●機器に設定されている [コメント] を表示します。
- ●機器にコメントを設定することができます。
- 最大文字数:半角16文字、全角8文字(カンマは使用できません)
- ●機器に設定されている[%演算レンジ]を表示します。
 ・0%~100%(入力/出力を0~100%として扱う)

動作概要:入力、	出力が 0~100%の範囲で扱われる。
入力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
出力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
-100%~100% (入力)	/出力を-100~100%として扱う)
動作概要:入力、	出力が-100~0~100%の範囲で扱われる。
入力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
	自動的に-100%に相当する値
出力%範囲調整	100%に設定した値が 100%
	0%に設定した値が 0%
	自動的に-100%に相当する値
	2

- ※ローレベルカットは無効になります。
- ●<設定書き込み>により[コメント]と[%演算レンジ]を機器へ設定 することができます。
- ●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※1台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

人力設定	
 WSPA設定ツール 	-
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
熱電入力 最大入力レンジ -270℃~1370℃ センサ種別 K ~	°2
 人カフィルタ つ フィルタ処理なし ● 移動平均処理 	出力1 ch % mA
□ ローレベルカット 0.00 % (0.00~120.00%) 入力%範囲設定	出力2ch % mA
100% 800.00 ℃ 現在入力値取得 0% 0.00 ℃ 現在入力値取得 パーグラフ更新	
設定範囲は-324.00で~1644.00でです。(精度保証範囲:-200.00で~1370.00で) 設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-78.

●機器の [最大入力レンジ]を表示します。

- ●機器に設定されている単位を表示します。
 - ・単位を摂氏に指定している場合最大入力レンジ、入力%範囲、 入力%範囲は摂氏で表示されます。
 - ・華氏に指定している場合、最大入力レンジ、入力%範囲、 入力%範囲は華氏で表示されます。
 - ・単位を摂氏から華氏、または華氏から摂氏に変更した場合、
 入力%範囲の値はそれぞれ華氏、摂氏表示に切り替わります。
- ●機器に設定されているセンサ種別を表示します。
 - K、E、J、T、R、S、N、B、WRe5-26 から選択できます。
- ●機器に設定されている [入力フィルタ] を表示します。
 - <フィルタ処理なし>か<移動平均処理>を選択します。
 フィルタ処理無し:4.58ms 毎に 8回分の移動平均処理を

しています。 移動平均処理 : 4.58ms 毎に 24 回分の移動平均処理を

しています。

- 移動平均処理を設定することで入力値を安定させることができます。
- ●機器に設定されている [ローレベルカット] を表示します。
 - ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値 を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00%です。 記定体ま準のデークは強制的に 0% トレエ扱います
 - ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。

※バーンダウンより優先します。

※データモニタが OFF の状態で摂氏華氏を変更して書き込みした時は、 データモニタの温度単位は更新されません。データモニタを ON すると 単位は更新されます。

※最大入力レンジの範囲外については直線補完された値になりますので、 精度保証外です。

- ●機器に設定されている入力%範囲を表示します。
 - ・設定範囲は最大入力レンジによって変化します。
 - ・ 画面の例では「設定範囲は-324.00℃~1644.00℃です」と表示 されています。
 - ・100%と0%の値を設定します。小数点以下2桁まで指定できます。
 - ・<現在入力値取得>により現在の入力値を使用することができます。
 - ・<バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大入力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大入力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(<u>C</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力	入力1 ch
「執雷入力	- 70
	0
	出力1 ch
	- %
● 1990T~1020±	– mA
$\Box = L \Lambda^{(1)} L L \Lambda^{(1)} = 0.00$ % (0.00~120.00%)	出力2ch
	- %
入力%範囲設定	– mA
100% 800.00 ℃ 現大3. 力(曲取24	
0% 400 00 ℃ 現在入力値取得	
-100% 0.00 °C パーグラフ更新	
設定範囲は-324.00℃~1644.00℃です。(精度保証範囲:-200.00℃~1370.00℃)	データモニタ
設定書き込み 設定読み出し	

図 4-79.

- ・製品情報タブの「%演算レンジ」で0%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値は表示されません。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により入力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により入力設定の内容を機器から読み出すことができます。
- ※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。
- ※華氏から摂氏に単位を変更した場合、0.001の誤差を生じる場合が あります。
- ※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
- ※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。
- ※単位を変更する場合は変更後書き込みを行ってから 設定を進めてください。

ファイル(E) 環境設定(C) ヘルブ(H)	
ノア1ル(E) 埠項設定(C) ハルノ(日)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	テータモニタ
温度センサ 一次遅れ応答 ~ N 96	人力1 ch - % - ℃ 出力1 ch - % - m ⁴ 出力2ch - m ⁴
アイコンをクリックすると設定、または説明画面を表示。ます。 設定書き込み 設定読み出	データモニタ

図 4-80.

●機能1 一次遅れ応答の設定をすることができます。
 「4.3.3.3 一次遅れ応答」を参照ください。

※プルダウンメニューで機能を選択するとアイコンの表示が変わります。 ※アイコンをクリックすることで選択した機能の設定画面を開くことができます。

- ●<設定書き込み>により変換・演算の設定の内容を機器へ設定する ことができます。
- ●<設定読み出し>により変換・演算の設定の内容を機器から読み出す ことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

④出力設定	
 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(<u>C</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch
アナログ出力	- °C
最大出力レンジ 0.0mA~20.0mA	
□□−レベルカット 0.00 % (0.00~120.00%)	
起動遅延時間 0 sec (0~99sec)	_出力1 ch
	- %
出力%範囲設定	mA
	出力2ch
100% 20.000 mA	- mA
0% 4.000 mA	
バーグラフ史新	
設定範囲は-4.000mA~24.000mAです。(精度保証範囲:最大出力レンジ内)	
設定書き込み 設定読み出し	データモニタ

図 4-81.

- ●機器の [最大出力レンジ]を表示します。
- ●機器に設定されている[ローレベルカット]を表示します。
 ・チェックボックスにチェックすると有効になり、ローレベルカット値を%で設定します。設定範囲は 0.00~120.00%です。
 - ・設定値未満のデータは強制的に0%として扱います。
- ●機器に設定されている [起動遅延時間]を表示します。
 - ・設定を変更することができます。0~99秒まで指定できます。
 ・起動遅延時間とは機器の電源投入から出力開始までの時間を遅らせる
 - ・
 に動産運時間とは機器の電源投入から山力開始よくの時間を建ちせる
 機能です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
- ●機器に設定されている [出力%範囲設定]を表示します。
 - ・設定可能範囲は最大出力レンジにより変化します。
 - ・画面の例では「設定範囲は-4.000mA~24.000mAです」と表示されています。
 - [100%] と [0%] の値を設定します。
 小数点以下は3桁まで指定できます。
 - <バーグラフ更新>により表示しているバーグラフを更新します。
 - ・バーグラフの左端が最大出力レンジの下限値-20%の値になります。
 - ・バーグラフの右端が最大出力レンジの上限値+20%の値になります。
 - ・青いバーは指定した0%~100%の範囲を表示しています。
 - ・赤いバーは指定した-100%~0%の範囲を表示しています。

 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch出力 2ch出力	入力1 ch
アナログ出力	0°-
最大出カレンジ 0.0mA~20.0mA	
ローレベルカット0.00 % (0.00~120.00%)	
起動運延時間 0sec (0~99sec)	出力1 ch
	_ mA
出力%範囲設定	出力2ch
	- %
100% 20.000 mA	- mA
0% 10.000 mA	
-100% 0.000 mA パーグラフ更新	
設定範囲は-4.000mA~24.000mAです。(精度保証範囲:最大出力レンジ内)	
設定書き込み 設定読み出し	デ ータモニタ

図 4-82.

- ・製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 上記のように-100%の値が表示され、赤いバーグラフも表示されます。
 ローレベルカットは選択不能になります。
- ●<設定書き込み>により出力設定の内容を機器に設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により出力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※100%の値、0%の値によっては-100%の値が設定範囲境界で カットされます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。

※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

⑤模擬入出力	
 30 WSPA股定ツール 	- 🗆 X
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(<u>H</u>)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
入力1ch ● % (-20.00~120.00) 出力1ch ● % ■ の (-20.00~120.00) 出力1ch ● % ■ の (-20.00~120.00)	入力1ch % ℃
出力2ch ● % ○ mA 模擬出力 (-20.00~120.00)	出力1 ch % mA 出力2 ch % mA
	データモニタ

図 4-83.

- ●模擬入力する値を%指定または実量値指定で設定します。
 - ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、
 - 実量値指定の場合最大入力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値 となります。
 - ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。
 - ※②の入力設定の単位を華氏に指定して設定書き込みを行った場合、 実量値の単位は華氏で表示されます。
 - ※華氏表示時、実量値で模擬入力を行い、設定読み出しを行った場合、 模擬入力中の実量値が 0.01の誤差が生じる場合があります。
 - ※最大入力レンジの範囲外については直線補完された値になります ので、精度保証外です。

●模擬出力する値を%指定または実量値指定で設定します。

- ・設定範囲は%指定の場合-20~120%、
 実量値指定の場合最大出力レンジの下限値-20%~上限値+20%の値
 となります。
- ※製品情報タブの「%演算レンジ」で-100%~100%を設定した場合は 設定範囲が%指定の場合-120~120%となります。

●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって 模擬的に入力または出力を行うことができます。 模擬入力または模擬出力中は表示が<模擬入力>または く模擬出力>となります。



※2 出力の場合は出力 2ch の模擬出力設定ボタンが表示されます。 ※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。

⑥デ	ータモニタ		
	 WSPA設定ツール 		- 🗆 ×
	ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H)		
	製品情報 入力設定 変換·演算 出力設定 模擬入出力	ファイル情報	データモニタ
	入力1ch ● % (-20.00~120.00)	出力1ch ● % ○ mA 模擬出力 (-20.00~120.00)	入力1 ch BurnOut]% BurnOut]℃
		出力2ch ● % (-20.00~120.00) mA 複類出力	出力1 ch 120.00 % 23200 mA 出力2ch 120.00 % 23200 mA
			データモニタ中

図 4-84.

- ●<データモニタ>を押すと、表示が<データモニタ中>となり、 現在の入力値、出力値をリアルタイムで%データ、
- 実量値データとして表示します。
- データモニタ中に<データモニタ中>を押すと、表示が
 <データモニタ>になり、データの表示は停止します。
- ※バーンアウト発生時は、データ部分に「BurnOut」と表示されます。 単位は更新されません。
- ※設定によっては定格の120%以上の表示が出力値として表示されます が、実際の出力は定格の120%が上限値となっています。
- ※②で入力設定の単位を華氏に指定して設定書き込みを行った場合、 実量値の単位は華氏で表示されます。
- ⑦ファイル情報

WSPA設定ツール		- 🗆 ×
ファイル(E) 環境設定(C) ヘルプ(H	D	
製品情報 入力設定 変換·演算	出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ 入 力1 cb
タイトル①		-%
タイトル②	(千月30又子まで。至月15又子まで。カンマは使用できません。)	
作成者	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	
	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	出力1 ch
日付	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません)	%
ファイル名		出力2ch
<u>الرياد</u>		%
	(半角100文字まで。全角50文字まで。カンマは使用できません)	
		データモニタ
	⊠ 4-85.	

●ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定することが できます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面に 情報が表示されます。

4.3.2.9 パルスレート分周変換器	
①袈品情報	
 wspa設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
製品名称 パルスレート分周変換器	
製品形式 WSPA-FDR-14KK-AX	
製造番号 18LA000247	
パージョン 1.00	
コメント (半角16文字まで。全角8文字まで。カンマは使用できません)	
設定書き込み 設定読み出し	

図 4-86.

●機器の[製品形式]、[製造番号]、[バージョン]を表示します。
 ●機器に設定されている[コメント]を表示します。

下記の条件でコメントを設定することができます。
 半角で16文字、全角で8文字まで。カンマは使用できません。

- ●<設定書き込み>によりコメントを機器へ設定する ことができます。
- ●<設定読み出し>により製品情報を機器から読み出すことができます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

2

 3 WSPA設定ツール 		
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)		
製品情報 入力設定 変換·演算 出力設定 模糊	疑入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch入力		
パルス入力		
最大入力レンジ 0.000000Hz~100000Hz		
入力フィルター		
● なし パルス入力のノイス	《やチャタリングの入力を取り除きます。	
 つあり 100Hz以上で正常 	なに動作しません。その場合はなしに設定してください。	
	設定書き込み 設定読	み出し

図 4-87.

- ●機器の最大入力レンジを表示します。
- ●機器に設定されている[入力フィルタ]を表示します。
 <あり>にすることでノイズやチャタリングの入力を取り除くことができます。
- ●<設定書き込み>により入力設定の内容を機器へ設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により入力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
<通信設定-全書き込み>操作をしてください。

 WSPA設定ツール 	-
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
パルス分周・パルスレート変換器 パルス分周 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ パルス分周 ・ ・ CUTPUT	
アイコンをクリックすると設定、または説明画面を表示します。 設定書き込み 設定読み出し	

図 4-88.

●機能1 パルス分周、パルスレートの設定をすることができます。
 「4.3.3.3 パルス分周」を参照ください。
 「4.3.3.3 パルスレート」

※プルダウンメニューで機能を選択するとアイコンの表示が変わります。 ※アイコンをクリックすることで選択した機能の設定画面を開くことが できます。

- ●<設定書き込み>により変換・演算の設定の内容を機器へ設定する ことができます。
- ●<設定読み出し>により変換・演算の設定の内容を機器から読み出す ことができます。

※パルス分周を設定時、最大入力周波数は DC~5kHz となります。
 ※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。
 ※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの
 <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

④出力設定	
 3 WSPA設定ツール 	- 🗆 X
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
1ch.2ch出力	
パルス出力	
1ch最大出力レンジ 0.000000Hz~50000.0Hz 12Vパルス出力 ?	
2ch最大出力レンジ 0.000000Hz~50000.0Hz 12Vパルス出力	
起動運延時間 0 sec (0~99sec)	
設定書き込み 設定読み出し	

図 4-89.

●機器の最大出力レンジを表示します。

- ●機器に設定されている起動遅延時間を表示します。
 - ・0~99秒まで指定できます。
 - ・起動遅延時間とは機器の電源投入から出力開始までの時間を 遅らせる機能です。
 - ・小数点以下は四捨五入されます。
- ●<設定書き込み>により出力設定の内容を機器に設定することが できます。
- ●<設定読み出し>により出力設定の内容を機器から読み出すことが できます。

※他の設定タブの設定情報の書き込み、読み出しは行いません。 ※一台の機器への設定操作を終了する場合、メニューからファイルの <通信設定-全書き込み>操作をしてください。

⑤模	擬入出力	
	 WSPA設定ツール 	- 🗆 ×
	ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
	製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	- データモニタ
	入力1ch	
	(0.00277~5000.00) (0.00277~5000.00)	
	変換・演算のパルス分周設定で最大入力周波数を5kHz以上に設定しています。 模擬入出力は実際の出力に反映されません。	

図 4-90.

- ●模擬入力する値を実量値指定で設定します。 ・設定範囲は 0.00000~100000Hz です
- ●模擬出力する値を実量値指定で設定します。 ・設定範囲は 0.00000~100000Hz です
- ※変換・演算のパルス分周設定で最大入力周波数を 5kHz 以上に設定 した場合、模擬入出力は実際の出力に反映されません。
- ●<模擬入力>または<模擬出力>を押すことによって 模擬的に入力または出力を行うことができます。 模擬入力または模擬出力中は表示が<模擬入力>または く模擬出力>となります。



※必ず模擬入出力を解除してから本ツールを終了してください。 機器の電源が切れるまで模擬入出力の状態は保持されます。

⑥デ	ータモニタ	
	WSPA設定"ソール	- 🗆 X
	ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
	製品情報 入力設定 変換・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
	入力1ch ● Hz 複擬入力 (0.00277~5000.00) ● Hz 複擬出力 (0.00277~5000.00)	
	変換・演算のパルス分周設定で最大入力周波数を5kHz以上に設定しています。 複擬入出力は実際の出力に反映されません。	

図 4-91.

※データモニタ機能はありあません

⑦ファイル情報

品情報 入力設定 変換	・演算 出力設定 模擬入出力 ファイル情報	データモニタ
タイトル①		
1	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
タイトル②		
	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません。)	
作成者		
	(半月30又子まで。全月15又子まで。カンマは使用できません。)	
	(半角30文字まで。全角15文字まで。カンマは使用できません)	
ファイル名		
1		
אעאר		
	(半角100文字まで。全角50文字まで。カンマは使用できません)	

図 4-92.

●ファイルに保存する場合、この画面でファイル情報を設定することが できます。また、ファイルから設定情報を開いた場合、この画面に 情報が表示されます。

4.3.3 変換・演算の設定

変換・演算の設定には以下の種類があります。 4.3.3.1 リニアライズ(20点)、リニアライズ(100点) 4.3.3.2 レシオ・バイアス 4.3.3.3 一次遅れ応答 4.3.3.4 傾斜応答 4.3.3.5 開平 4.3.3.6 リバーサ 4.3.3.7 最大保持(HOLD) 4.3.3.8 最小保持(HOLD) 4.3.3.9 $l' - p \cdot v - l' - p$ (HOLD) 4.3.3.10 ハイモニタ ローモニタ 4.3.3.11 4.3.3.12 偏差モニタ 4.3.3.13 変化率モニタ 4.3.3.14 ハイローリミッタ 4.3.3.15 変化率リミッタ 4.3.3.16 プリセット 4.3.3.17 ソフトプリセット 4.3.3.18 スケーリング 4.3.3.19 ハイセレクタ 4.3.3.20 ローセレクタ 4.3.3.21 加減算 4.3.3.22 乗算 4.3.3.23 除算 4.3.3.24 スイッチセレクタ 4.3.3.25 ソフトスイッチセレクタ 4.3.3.26 温度補正 4.3.3.27 圧力補正1 4.3.3.28 圧力補正2 4.3.3.29 パルス出力パターン 4.3.3.30 パルス平均化 4.3.3.31 パルスレート 4.3.3.32 パルス分周

 4.3.3.1 リニアライズ(20 点)、リニアライズ(100 点)
 ●リニアライズテーブルを 21 ポイントまたは 101 ポイント指定する ことができます。

※モジュールからリニアライズデータを読み出した時は、
 [演算・変換方式]はデフォルトの設定表示になります。
 ※演算式が入力されている場合、入力(X)開始値と入力(X)終了値を
 入力し<テーブル作成>押すとYを自動計算し表示します。
 ※リニアライズは基本的に製品情報タブの「%演算レンジ」で
 0%~100%を選択した時のグラフを作成するようになっています。

演算・変換方式入力(手動入力)

硘 リニアライズテーブ	ル設定		-	
入力に対する出力の 入力(X)と出力(V)は 入力した演算式が開	の値を決定するテーブ) に-120~120%までと 間違っている場合出ナ	lを作成します。 なります。 J(Y)が全て0になります	o	
演算·変換方式	手動入力	\sim		
- 手動入力	3 300 47 5			
+ -	×÷	べき乗 絶対伯	直 Log10	
√ sin	cos tan	arcTan 指数	Log	?
演算式の入力値 演算式では、入:	をして、″×″を入力し 力(×)を100%→1、1%	てください。(大文字の i→0.01として演算を行	み) iいます。	
(演算式 中力(V))	=			
演兵式 山/八八				
	人力(X)開始値	0.00	%	テーブル作成
	入力(X)終了値	100.00	%	2 270 H MA
入力(X)%	出力(Y)% ^	0		
0.00	0.00			
1.00	0.00			
2.00	0.00			
3.00	0.00			
4.00	0.00			
5.00	0.00			
6.00	0.00			
7.00	0.00			
8.00	0.00			
9.00	0.00			
10.00	0.00			
11.00	0.00			
12.00	0.00	0		
13.00	0.00 🗸	0		100
データをファイル から読み出し	データをファイル へ書き込み	グラフ表示	ок	キャンセル



- ・演算・変換方式で「手動入力」を選択すると、手動入力で使える 演算子ボタンが表示されます。
- ・手動入力時に現れる<?>ボタンを押すことで使用できる演算式の 説明画面を表示することができます。
- ・入力(X)開始値と終了値で作成するテーブルのXの値を決めます。
- <テーブル作成>を押すことで左下のテーブルを表示、
 右下のグラフを表示します。
- ・表をクリックして手動で入力することにより細かい設定も可能です。
- ・表のX側の数値を変更すると自動的に出力の値を演算式から 計算して表示します。
- ・<グラフ表示>を押すことによりグラフに反映します。
- <データをファイルから読み出し>を押すと保存した
 リニアライズテーブルデータを読み出して表とグラフに反映します。
- <データをファイルへ書き込み>を押すとリニアライズテーブル
 データをCSVファイル形式で保存します。

- ・<OK>を押すとリニアライズテーブルを設定完了です。
- ・<キャンセル>を押すとリニアライズテーブル設定を中止します。
- ・表に直接データを入力することもできます。
 但し、2点以上指定してください。
- ※入力した演算式は、テーブルデータを作成する時に使用するだけで、 機器に保存されません。

※計算された値は小数点第3桁を四捨五入した値になります。

※ $Y=-X^2$ と $Y=(-X)^2$ はともにプラスの値になります。 $Y=-1*X^2$ とするとマイナスの値になります。

これは MS-EXCEL の表現と同じになっております。

4.3.3.2	 レシオ・バイアス ジシオバイアス 入力に対して一次直線の特性で出力をします。 出力に対する演算式を行う算文に自から選択します。 一次直線の特徴をドレンオ(や)に設定します。 切片を「バイアス(B)」に設定します。 演算式(E) 演算式(E)
	 ● 出力=レシオ×入力+バイアス ○ 出力=レシオ×(入力+バイアス) レシオ(R) 1.000 (-9.999~9.999) パイアス(B) (%) 0.00 (-999.99~999.99) パイアス(B) (%) 0.00 (-999.99~999.99) ● IAS NPUT %
	図 4-94.

- ●入力に対して一次直線の特性で出力をします。
 出力に対する演算式を「演算式(E)」から選択します。
 一次直線の傾きを「レシオ(R)」に設定します。
 切片を「バイアス(B)」に設定します。
- ●演算式を選択します。
 (デフォルト:出力=レシオ×入力+バイアス)
- ●レシオを指定します。
- 設定範囲は-9.999~9.999 (デフォルト:1.000) です。 ●バイアスを指定します。
- 設定範囲は-999.99~999.99(デフォルト:0.00)です。 ●<OK>でレシオ・バイアスの設定をします。
- ●<キャンセル>でレシオ・バイアスの設定を中止し画面を 終了します。



- ●入力に対して一次遅れ応答を出力します。
- ・目標値の 63%の出力を「一次遅れ時間(T)」に設定します。
- ●一次遅れ時間を指定します。
 - ・設定範囲は 0.0~999.9 秒 (デフォルト: 0.0) です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



- ●入力に対して一定の傾きの応答を出力します。
 - ・出力がスケールの 0%から 100%まで変化する時間を 「傾斜応答時間(T1)」に設定します。
 - ・出力がスケールの 100%から 0%まで変化する時間を 「傾斜応答時間(T2)」に設定します。
- ●傾斜応答時間を指定します。
 - ・傾斜応答時間 T1(立ち上がり)と傾斜応答時間 T2(立ち下り)の指定が可能です。設定範囲は 0.0~99.9秒(デフォルト:0.0)
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



図 4-97.

- ●入力に対して平方根の演算を行います。
 - ・ローレベルカットを出力の値に対して設定するには
 「出力ローレベルカット(0)」に%値を設定します。
 - ・ローレベルカットを入力の値に対して設定するには
 「入力ローレベルカット(I)」に%値を設定します。
 - ・本演算の出力情報(D0)として、ローレベルカットしたか否かを 次の演算処理へ引き渡します。

DO=TRUEの時、ローレベルカットした。

DO=FALSEの時、ローレベルカットしていない。

- ●出力ローレベルカットを指定できます。
- ●設定範囲は 0.00~120.00% (デフォルト: 0.00)
- ●入力ローレベルカットを指定できます。
 - ・設定範囲は 0.00~120.00% (デフォルト: 0.00)
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



●設定項目はありません。

- ・前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を DI として取り込み、 リバース処理の有効/無効を判定します。
 - DI=TRUEの時、リバース処理を無効にします DI=FALSEの時、リバース処理を有効にし、入力%値を 反転します。 前の演算の DO が無効のときは DI=FALSE とみなします。
- ●<OK>で画面を終了します。
- ※DI 設定にて前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を任意に 変更できます。

前処理DOに従う

常にFalse

- 1入力演算モジュールの時のみ「HOLD 端子に連動」が
- 追加されます。HOLD 端子短絡で True、開放で False となります。

4.3.3.7	最大保持(HOLD)		
	🥑 説明画面 -		×
	最大値保持(HoLD) 設定項目はありません。 HOLDが開設の時、入力の値を出力します。 HOLDが開設の時、入力の値を出力します。		
		0 4	(

図 4-99.

- ●設定項目はありません。
 - ・HOLD入力端子が短絡の時、入力%値の最大値を保持します。
 - ・HOLD入力端子が開放の時、入力の値を出力します。
- ●<OK>で画面を終了します。







●設定項目はありません。

- ・HOLD入力端子が短絡の時、入力%値の最小値を保持します。
- ・HOLD入力端子が開放の時、入力の値を出力します。
- ●<OK>で画面を終了します。



図 4-101.

- ●設定項目はありません。
 - ・HOLD入力端子が短絡の時、入力%値の最大値と最小値の 幅を出力します。
 - ・HOLD入力端子が開放の時、入力の値を出力します。
- ●<OK>で画面を終了します。



図 4-102

- ●本演算の出力情報(D0)として、入力値がモニタ設定値を 上回っているか否かを次の演算処理へ引き渡します。
 - モニタ設定値を「モニタ設定値(S)」に設定します。
 D0=TRUEの時、モニタ設定値を上回っています。
 D0=FALSEの時、モニタ設定値を上回っていません。
 - モニタ設定値を下回る検出をする場合は、
 「モニタ設定値(S)」-「ディファレンシャル(D)」で検出します。
 ディファレンシャルの値を「ディファレンシャル(D)」に
 設定します。
- ●モニタ設定値を指定します。
 設定範囲は-999.99~999.99% (デフォルト:100.00) です。
- ディファレンシャルを指定します。
 設定範囲は 0.00~999.99% (デフォルト: 1.00) です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



図 4-103.

- ●本演算の出力情報(D0)として、入力値がモニタ設定値を 下回っているか否かを
 - 次の演算処理へ引き渡します。
 - ・モニタ設定値を「モニタ設定値(S)」に設定します。
 - ・モニタ設定値を上回る検出をする場合は、
 「モニタ設定値(S)」+「ディファレンシャル(D)」で
 検出します。
 ディファレンシャルの値を「ディファレンシャル(D)」に
 - 設定します。

DO=TRUEの時、モニタ設定値を下回っています。

D0=FALSEの時、モニタ設定値を下回っていません。 ●モニタ設定値を指定します。

設定範囲は-999.99~999.99%(デフォルト:0.00)です。 ●ディファレンシャルを指定します。

- 設定範囲は 0.00~999.99%(デフォルト:1.00)です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



図 4-104

- ●本演算の出力情報(D0)として、入力値がモニタ設定値範囲外か 否かを次の演算処理へ引き渡します。
 - ・モニタ設定値範囲とはモニタ設定値±バンド幅のことです。
 - ・モニタ設定値を「モニタ設定値(S)」に設定します。
 - ・バンド幅の値を「バンド幅(B)」に設定します。
 - ・範囲外から範囲内に戻るときは 0.1%の不感帯を持ちます。 D0=TRUEの時、モニタ設定値範囲外です。
- D0=FALSEの時、モニタ設定値範囲外ではありません。 ●モニタ設定値を指定します。
- 設定範囲は-999.99~999.99% (デフォルト:0.00) です。 ●バンド幅を指定します。
 - 設定範囲は0.00~999.99% (デフォルト:1.00) です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。


図 4-105.

- ●本演算の出力情報(D0)として、変化率の範囲を超えたか否かを 次の演算処理へ引き渡します。
 - ・上昇時の変化率の最大値を「変化率上限(U)」に設定します。
 - ・下降時の変化率の最大値を「変化率下限(D)」に設定します。
 D0=TRUEの時、変化率の範囲を超えました。
 D0=FALSEの時、変化率の範囲内です。
- ●変化率上限を指定します。 設定範囲は 0.0~200.0%/秒(デフォルト:100.0)です。
- ●変化率下限を指定します。 設定範囲は 0.0~200.0%/秒(デフォルト:100.0)です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。

4.3.3.14	ハイローリミッタ			
	2 設定画面	-		×
	- ハイローリミッタ 入力値を指定の値で上下限リミット処理を行います。 上限リミットを「ハイリミット(ドル)に設定します。 下限リミットを「ローリミット(ビル)に設定します。 不満寛道の出力情報版OOとして、リミット処理したか否かを次の)資算処理へ引き渡します DO=TRUEの時、リミット処理しました。 DO=FALSEの時、リミット処理しませんでした。	•		
	/\//Jミット(H) 100.00 (-999.99~999.99%) □-J/ミット(L) 0.00 (-999.99~999.99%) □-Jミット(L) 0.00 0	PUT		
	ОК		キャンセ	ιL

図 4-106.

- ●入力値を指定の値で上下限リミット処理を行います。
 - ・上限リミットを「ハイリミット(H)」に設定します。
 - ・下限リミットを「ローリミット(L)」に設定します。

 本演算の出力情報(D0)として、リミット処理をしたか否かを 次の演算処理へ引き渡します。
 D0=TRUEの時、リミット処理をしました。

DO=FALSEの時、リミット処理をしませんでした。

- ●ハイリミットを指定します。
- 設定範囲は-999.99~999.99% (デフォルト:100.00) です。 ●ローリミットを指定します。
- 設定範囲は-999.99~999.99%(デフォルト:0.00)です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



- 図 4-107.
- ●前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を DI として取り込み、 指定の変化率を用いたリミット処理の有効/無効を判定します。

DI=TRUEの時、入力%値をそのまま出力します。 DI=FALSEの時、指定の変化率でリミット処理した%値を 出力します。

前の演算の DO が無効の時は、DI=FALSE とみなします。

●本演算の出力情報(D0)として、リミット処理をしたか否かを 次の演算処理へ引き渡します。

DO=TRUEの時、リミット処理をしました。

- DO=FALSEの時、リミット処理をしませんでした。
- ●変化率上昇を指定します。
 設定範囲は 0.00~999.99%/秒(デフォルト:100.00)です。
 ●変化率下降を指定します。
- 設定範囲は 0.00~999.99%/秒(デフォルト:100.00)です。 ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。
- ※DI 設定にて前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を任意に 変更できます。
 - ・前処理DOに従う
 - ・常にFalse
 - 1入力演算モジュールの時のみ「HOLD 端子に連動」が 追加されます。HOLD 端子短絡で True、開放で False となります。



図 4-108.

- ●前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を DI として取り込み、 ・プリセット値を出力するのか否かを判定します。
 - ・プリセット値を「プリセット値(S)」に設定します。
 ・プリセット値を「プリセット値を出力します。
 DI=FALSEの時、プリセット値を出力しません。
 前の演算の D0 が無効の時は、DI=FALSE とみなします。
- ●プリセット値を指定します。 設定範囲は-999.99~999.99%(デフォルト 0.00)です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。

※DI 設定にて前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を任意に 変更できます。

- ・前処理DOに従う
- ・常にTrue
- 1入力演算モジュールの時のみ「HOLD 端子に連動」が
- 追加されます。HOLD 端子短絡で True、開放で False となります。

4.3.3.17	ソフトプリセット	
	砂設定画面 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	×
	ソフトプリセット 前の:賞賞処理がらの入力/情報(DDとして、 プリセット値出力をするか否かを取り込みます。 出力する説像、一定の値参で出力を変化とせます。 指定の値参「が好をい話が定します。 一定の値参を「何時でRJに話が定します。 DE-FRUEの時、プリセット値を出力します。 DE-FRUEの時、プリセット値を出力します。 前の:賞賞のDOが無効の場合、DE-FALSEとみなします。	
	DI 設定 前処理DO(2従う ~ フリセット値(S) 0.00 (-999.99~999.99%) 傾き(R) 10.00 (0.01~999.99%//sec)	
	О К <i>**</i> УФ/	۶

```
図 4-109.
```

 ●前の演算処理からの出力情報(D0)の状態をDIとして取り込み、 プリセット値を出力するか否かを判定します。
 出力する際、一定の傾きで出力を変化させます。
 指定の値を「プリセット値(S)」に設定します。
 一定の傾きを「傾き(R)」に設定します。
 DI=TRUEの時、プリセット値を出力します。

DI=FALSEの時、プリセット値を出力しません。

前の演算の DO が無効の場合、DI=FALSE とみなします。

●プリセット値を指定します。 設定範囲は-999.99~999.99%(デフォルト:0.00)です。 ●傾きを指定します。

- 設定範囲は 0.01~999.99%/秒 (デフォルト 10.00) です。
- ●<OK>ボタンで設定を完了します。

●<キャンセル>ボタンで設定を中断し画面を終了します。

※DI 設定にて前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を任意に 変更できます。

・前処理DOに従う

・常にTrue

1入力演算モジュールの時のみ「HOLD 端子に連動」が

追加されます。HOLD 端子短絡で True、開放で False となります。

4.3.3.18	スケーリング				
	创 演算	_		×	
	人ケーリンクは温度補止、比刀補止1、比刀補止2と組合わせた場合のみ動作します。 それ以外の組合わせは行わないで下さい。 入力%値を指定の値で2ケーリッグします。				
	0%入力時の出力値(温度又は圧力)を「スケールロー(L)」に設定します。 100%入力時の出力値(温度又は圧力)を「スケールハイ(H)」に設定します。				
	温度補正、圧力補正の機能を使用するときにスケーリングを使用します。				
	スケールロー(L) (0%) スケール/\イ(H) (100%)				
	(-999.99~999.99) (-999.99.99)				
	ОК		キャンセ	11	

図 4-110.

- ●スケーリングは温度補正、圧力補正1、圧力補正2と組合せた 場合に使用します。それ以外の組合せでは使用しないで下さい。
 ・入力%値を指定の値でスケーリングします。
 - ・0%入力時の出力値(温度又は圧力)を「スケールロー(L)」に 設定します。
 - ・100%入力時の出力値(温度又は圧力)を「スケールハイ(H)」に 設定します。
- ●スケールローを指定します。 設定範囲は-999.99~999.99(デフォルト:0.00)です。
- ●スケールハイを指定します。 設定範囲は-999.99~999.99 (デフォルト:100.00)です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



- ●2入力の、大きい入力を出力します。
 - ・設定項目はありません。
 - ・本演算の出力情報(D0)として、1ch入力<2ch入力であるか 否かを次の演算処理へ引き渡します。
 - D0=TRUE の時、1ch 入力 < 2ch 入力です。 D0=FALSE の時、1ch 入力 ≧ 2ch 入力です。
- ●<OK>で画面を終了します。





図 4-112.

- ●2入力の、小さい入力を出力します。
 - ・設定項目はありません。
 - ・本演算の出力情報(D0)として、1ch入力<2ch入力であるか否 かを次の演算処理へ引き渡します。
 - DO=TRUE の時、1ch 入力 < 2ch 入力です。 DO=FALSE の時、1ch 入力 ≧ 2ch 入力です。
- ●<OK>で画面を終了します。





- ●入力 1ch と入力 2ch の加減算をした結果を出力します。
 1ch 目の割合と 2ch 目の割合をテキストボックスに設定します。
 本演算の出力情報(D0)として、1ch 入力<2ch 入力か否かを
 次の演算処理引き渡します。
 D0=TRUEの時、1ch 入力 < 2ch 入力です。
 D0=FALSEの時、1ch 入力 ≥ 2ch 入力です。
- ●1ch目の割合を指定します。 設定範囲は-1000.0~1000.0 (デフォルト100.0)です。 ●2ch目の割合を指定します。
- 設定範囲は-1000.0~1000.0 (デフォルト100.0) です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



※平均値演算を行う場合、1ch/2chの割合をそれぞれ 50.0 に設定してください。



入力1chと入力2chの乗算した結果を出力します。 1ch目の割合と2ch目の割合をテキストボックスに設定します。 本演算の出力情報(D0)として、1ch入力<2ch入力か否かを 次の演算処理へ引き渡します。 D0=TRUEの時、1ch入力 < 2ch入力です。 D0=FALSEの時、1ch入力 ≧ 2ch入力です。
1ch目の割合を指定します。 設定範囲は-1000.0~1000.0 (デフォルト100.0)です。
2ch目の割合を指定します。 設定範囲は-1000.0~1000.0 (デフォルト100.0)です。
<OK>で設定を完了します。
<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



4.3.3.23	除算					
	·····································					
	除算 入力1chと入力2chを除算した結果を出力します。 1ch目と2ch目の除算方法を指定します。その割合をテキストボックスに設定します。 本演算の出力情報(DOとして、1ch入力く2ch入力か否かを次の演算処理へ引き渡します。 DO=TRUEの時、1ch入力く2ch入力です。 DO=FLASEの時、1ch入力 ≥ 2ch入力です。 分母が0の時、出力は0%となります。					
	2 ch÷1ch √ (~1000.0~1000.0) 出力%値 = <u>2ch目%値</u> × <u>100.0</u> %					
	0 K ++>セル					
	図 4-115.					
)2ab÷1abの時の道明					
• •	入力 1ch と入力 2ch の除算した結果を出力します。					
•	1ch 目と 2ch 目の除算方法を指定します。					
•	本演算の出力情報(DO)として、1ch入力<2ch入力かる	5 Z				
	次の演算処理へ引き渡します。					
	DO=TRUEの時、1ch入力 < 2ch入力です。					
	D0=FALSEの時、1ch入力 ≧ 2ch入力です。					
•	分母が0の時、出力は0%となります。					
• 2	01ch÷2chの時の説明					

- ・入力1chと入力2chの除算した結果を出力します。
- ・1ch 目と 2ch 目の除算方法を指定します。
- ・本演算の出力情報(D0)として、1ch入力>2ch入力か否かを 次の演算処理へ引き渡します。
 - DO=TRUEの時、1ch入力 > 2ch入力です。
 - DO=FALSEの時、1ch入力 ≦ 2ch入力です。
- ・分母が0の時、出力は0%となります。
- ●2ch÷1ch または 1ch÷2chを選択します。 (デフォルト:2ch÷1ch)
- ●係数を指定します。
 - 設定範囲は-1000.0~1000.0(デフォルト100.0)です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。





図 4-116.

- ●設定項目はありません。
 - ・前の演算処理からの出力情報(DO)の状態を DI として取り込み、 2入力のどちらを出力とするかを判定します。 DI=TRUEの時、2ch入力を出力
 - DI=FALSE の時、1ch 入力を出力
 - ・前の演算のDOが無効の時は、DI=FALSEとみなします。
 - ・本演算の出力情報(D0)として、1ch入力<2ch入力であるか否か を次の演算処理へ引き渡します。
 D0=TRUEの時、1ch入力 < 2ch入力です。
 D0=FALSEの時、1ch入力 ≥ 2ch入力です。
- ●<OK>で画面を終了します。



※DI 設定にて前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を任意に 変更できます。

- ・1ch,2ch をOR判断
- 1chの前処理DOに従う
- ・2ch の前処理DOに従う
- ・常にFalse
- ・常にTrue

4.3.3.25	ソフトスイッチセレクタ ④ 設定画面 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	_		×
	ソフトスイッチセレクタ 前の?賞賞処理からの入力情報(DDとして、 2入力のどちらを出力とするかを違択します。 出力を切り替える除、一定の時時で出力を変化させます。 その時者を「植き(R)に設定します。 DI=TRUEの時、2ch入力を出力とします。 DI=FALSEの時、1ch入力を出力とします。 前の?賞賞のDOが無効の場合、DI=FALSEとみなします。			
	DI 設定 1ch, 2chをOR判断			
	ОК		キャンセル	,
	図 4-117.			
● 計	「の 涙 質 加 理 か ら の 出 力 唐 超 (DO) の 出 能 を	рт	L 1	て雨

●前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を DI として取り込み、 2入力のどちらを出力するかを判定します。

出力を切り替える際、一定の傾きで出力を変化させます。

その傾きを「傾き(R)」に設定します。

DI=TRUE の時、2ch 入力を出力

DI=FALSE の時、1ch 入力を出力

前の演算の DO が無効の時は、DI=FALSE とみなします。

●傾きを指定します。

設定範囲は 0.01~999.9%/秒(デフォルト 10.00)です。

●<OK>で設定を完了します。

●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



※DI 設定にて前の演算処理からの出力情報(D0)の状態を任意に 変更できます。

- ・1ch,2ch をOR判断
- 1chの前処理DOに従う
- ・2ch の前処理DOに従う
- ・常にFalse
- ・常にTrue

 1.3.3.26 温度補正 	
	🧐 演算 — 🗆 🗙
	温度補正 気体流量の温度補正処理を行います。 単位を指定します。 「温度「1」は、オリコイス設計時の温度を設定してください。 1 ch目には、スケーリング処理で「温度」に変換した値を使用してください。 単位が現氏の場合、1 chデータ(温度)が-273以下のとき、出力%値がのになります。 単位が華氏の場合、1 chデータ(温度)が-459.4以下のとき、出力%値がのになります。
	単位(U) ● 摂氏 ○ 華氏 出力%値 = 2ch目%値 × 273 + 0.0 273 + 1chデータ(温度)
	О К * *>セル
	図 4-118.

- ●気体流量の温度補正処理を行います。
 - ・単位を指定します。
 - ・「温度(T)」は、オリフィス設計時の温度を設定してください。
 - ・1ch 目には、スケーリング処理で「温度」に変換した値を 使用してください。
 - ・単位が摂氏の場合、1chデータ(温度)が-273以下のとき、 出力%値が0になります。
 - ・単位が華氏の場合、1chデータ(温度)が-459.4以下のとき、 出力%値が0になります。
- ●単位を選択します。

(デフォルト:摂氏)

- ●温度を指定します。
 - 設定範囲は-300.0~2000.0 (デフォルト 0.0) です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。

4.3.3.27	圧力補正1
	 ④ 演算 - □ ×
	圧力補正1 「気体流量の圧力補正処理を行います。 「圧力の単位は、ket/cm ² です。 「圧力(P)」は、オリフィス設計時の圧力を設定してください。 「た力(P)」は、オリフィス設計時の圧力を設定してください。。 1ch目には、スケーリング処理で「圧力」に変換した値を使用してください。。
	出力%値 = 2ch目%値 × 1.033 + 1chデータ(圧力) 1.033 + 0.0 圧力(P) (-999.9~999.9 kgf/cm²)
	OK キャンセル
	図 4-119.

- ●気体流量の圧力補正処理を行います。
 - ・圧力の単位は、kgf/cm^{*}です。
 - ・「圧力(P)」は、オリフィス設計時の圧力を設定してください。
 - ・1ch目には、スケーリング処理で「圧力」に変換した値を 使用してください。
- ●圧力を指定します。
 - 設定範囲は-999.9~999.9kgf/c m (デフォルト 0.0) です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。

4.3.3.28	圧力補正2
	 ④演算 - □ ×
	圧力補正2 気体流量の圧力補正処理を行います。 圧力の単位は、mmH2Oです。 「圧力(P)」は、オリフィス設計時の圧力を設定してください。。 1ch目には、スケーリング処理で「圧力」に変換した値を使用してください。。
	10330 + 1chデータ(圧力) 出力%値 = 2ch目%値 × 10330 + 0.0 圧カ(P) (-999.9~999.9 mmH2O)
	О К <i>Ф</i> УСЛ
	図 4-120.

- ●気体流量の圧力補正処理を行います。
 - ・圧力の単位は、mmH20です。
 - ・「圧力(P)」は、オリフィス設計時の圧力を設定してください。
 - ・1ch 目には、スケーリング処理で「圧力」に変換した値を 使用してください。
- ●圧力を指定します。
 - 設定範囲は-999.9~999.9mmH20(デフォルト 0.0)です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。



図 4-121.

- ●パルス出力のパターンを「出力タイプ(0)」で設定します。
 ・ワンショットを選択した場合、「ワンショット時間(T)」を 指定します。
- ●出力タイプを下記の中から指定します。
 - デューティ 50%、
 - ワンショット(ON時間指定)、
 - ワンショット (OFF 時間指定)
 - (デフォルト:デューティ 50%)
 - ・出力タイプでワンショットを指定すると、
 ワンショット時間を指定することができます。
- ※無接点出力の場合はワンショット固定で100msec固定です。
- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。
- 注意
 ・出力周波数の設定が 5Hz 以下の場合、単位パルス出力となり ワンショット 100ms の出力固定になります。
 ・設定ツールを使用しても変更が出来ません。
 ・設定内容が無効になりますのでご注意ください。 また、ワンショット無接点出力の仕様の場合も同様です。



図 4-122.

- ●入力パルス周波数を設定値毎に平均化した値で取得します。
- ●「平均化するパルス数(P)」を設定します。 デフォルトは1です。

設定可能なパルス数は、入力%範囲の設定値に応じて変わります。

- ●<OK>で設定を完了します。
- ●<キャンセル>で設定を中断し画面を終了します。

4.3.3.31	パルスレート				
	🥶 設定画面		_		×
	パルスレート 入力パルスを設定したレートの 「入力検出方向(の)を選択します 「パルスレート(R)を設定しま 「出力反転(C)を選択します パルスレートが0.3の場合、10 入力周波数 DC~5kHz SkHzより違い周波数で入力。 また条件により入力周波数の 詳細はパルスレート設定横の	割合でパルス出力します。 ます。 。ワンショットを選択した場合「ワンショット時間(T)」を の入力で3回の出力をします。 制限が異なります。 ?ボタンによりご参照ください。	設定します。		
	入力検出方向(D) Hi→Low ~ パルスレート(R) 1.0000 ? (0.0001~1.0000) 出力タイプ(O) スルー ~				
	□ 出力反転(C)	Dンショット時間(T) Oの間波数を出力す (50 µ ~ 1sec) Oの Go µ ~ 1sec) Dの Co □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	る場合には 約分えません		
		0 1	<	キャンセ	μ,

図 4-123.

入力パルスを設定したレートの割合でパルス出力します。
 「入力検出方向(D)」を選択します。
 「パルスレート(R)」を設定します。
 「出力タイプ(0)」を選択します。ワンショットを選択した場合
 「ワンショット時間(T)」を設定します。
 「出力反転(C)」を選択します。
 例 パルスレートが 0.3の場合、10回入力で3回の出力をします。

 入力検出方向を設定します。

- ・Hi→Lo (デフォルト)
- Lo→Hi
- ●パルスレートを指定します。
 - $0.0001 \sim 2.0000$

1以下の時、出力タイプはスルー/ワンショットを選択します。 1を超える時、出力タイプはワンショットのみになります。

- ●出力タイプを指定します。 ワンショット/スルー
- ●出力反転
 - 出力信号を反転するかを指定します。
- ●ワンショット時間を指定します。
 - 単位を msec/µ sec から選択し、時間を入力します。
 (50µ sec~1000msec)

●<?>を押すことでパルスレートの説明画面を 開くことができます。

入力周波数000~{ 入力周波数000~{ 入力周波数000~{ 内 中間 時 入力周波数 た 時 入力周波数 きい時 入力可能絶 のがみい間定 がし のた をない し 入力周波 か り つ た が し し た が し い 時 大 力 の 能 皮 数 の い の に の い の に の い の い の い の い の い の い	5kHz ハ° スレート:0.0001 5kHz ハ° スレート:0.0001 * ス個によって正常に動け 意味(型)(たしない)) が、DC〜5kHz 助波数<=1/(2*7)2aット/1 な、DC〜6kHz 助波数<=1/(2*7)2aット/1 し、0001~2.0000 *********************************	~1.0000 ~2.0000 作可能な出力周波数 *ルス幅)/ハ*ルスレート *ルス幅) zL(下)こ制限) <u>/上限</u>) 人下	が制限され	~
	入力周波接数000~ 入力周波接数00~ 入力周波接数00~ 入力周波接数0~ の周波接数入力では1 時 入力周波接 入力周波接 入力周波接 入力可能1 かり のの時 入力可能1 の時 入力可能1 の時 入力可能1 の時 入力可能1 の時 入力可能1 大子では1 のの時 入力可能1 のの時 入力可能1 大子で1 にしたし の時 入力周波数1 にしたし の時 入力周波数1 にしたし の時 入力周波数1 にしたし の時 入力周波数1 にしたし の時 入力周波数1 にしたし の時 入力周波数1 にしたし の時 入力周波数1 にしたし の時 入力周波数1 にしたし の時 入力周波を1 にしたし の時 入力周波を1 にしたし の時 入力周波を1 にしたし の時 入力周波を1 にしたし 入力周辺 たちい の時 入力可能1 にしたし の時 入力可能1 にしたし の時 入力可能1 にしたし の時 入力 にしたし しの時 入力 同応は 大力可能1 にしたし の時 入力 にしたし しの時 入力 にしたし しの時 入力 「あた」 した しの時 入力 「あた」 した した しの時 入力 「あた」 した した した した した した した した した した	入力固決変数00~5kHz ハ*kJレト:0.0001 小出力時は双2aa,h*kJk和 こよって正常に勤 の周決数入力では正常に動作しない) 時 入力周決数; :0C~5kHz 入力可能間波数< =1/(2w7)2aa,h きい時 入力周決数; :0C~5kHz 入力可能間波数< =1/(4w7)2aa,h うい時 入力周決数; :0C~5kHz 入力可能間波数< =1/(4w7)2aa,h ついかけより大きい時 して2,000 のちんせ 人力周波数類通用(Hz)< =5,h*kJ 力周波数類範囲(Hz)< =5,h*kJ 力周波数範囲(Hz)< =2,5/HzJ	入力間決変数00~5kHz ハ*ルスレート:0.0001~1.0000 入力間決変数00~5kHz ハ*ルスレート:0.0001~2.0000 小出力時は30シa-hx*0km48によって正常に動作可能な出力周決数 の周決数2.力では正常に動作しない) 時 入力周決数:00~5kHz 入力可能問決数 との~5kHz 入力可能問決数:00~5kHz 入力可能認決数:00~5kHz のあたびにはないのであれます。 のあたびには、10~5kHz (14年のジョットパ*ルス幅) の少うへと聞定さなり 00~5kHz のの~5kHz のの~5kHz のの~5kHz 小切れ認決数:00~5kHz パ*ルス相) ののものは、2000 パ*ルストレート 10~5kHz パ*ルストレート 10~5kHz パ*ルストレート 10~5kHz パ*ルストレート 11/10 11/10 11/11	入力間決壊数00~5kHz ハ*はス/-ト:0.0001~1.0000 入力間決壊数00~5kHz ハ*はス/-ト:0.0001~2.0000 小出力時は30%-h/*はAmmelsよって正常に動作可能な出力周決策数が制限され の周決数入力では正常に動作しない) 時 入力周決戦:00~5kHz 入力可能周波数 といるもれた 人力の能力能力度(**********************************

図 4-124.

 スルー出力タイフ。入力周波数 DC~5kHz ハ[®] ルスレート: 0.0001~1.0000
 ワンショット出力タイフ。入力周波数 DC~5kHz ハ[®] ルスレート: 0.0001~2.0000
 ※ただし、ワンショット出力時はワンショットハ[®] ルス幅によって正常に動作可能な 出力周波数が制限される

(制限以上の周波数入力では正常に動作しない)

^{ハ°}ルスレート1以下の時 入力周波数:DC~5kHz

入力可能周波数<=1/(2*ワンショットパルス幅)/パルスレート

パルスレート1より大きい時 入力周波数:DC~5kHz 入力可能周波数<=1/(4*ワンショットパルス幅)</p>

 無接点出力時はワンショット固定となり
 入力周波数:DC~5kHz パルスレート0.0001~2.0000
 (ただしパルスレートが1より大きい時は入力周波数は2.5Hz以下に制限) パルスレート1以下の時
 入力周波数範囲(Hz) <= 5/パルスレート

ハノ周波数範囲(H2) < - 5/ パルパレート (ただし入力周波数範囲が 5kHz を超える場合は 5kHz が上限) パルスレート1より大きい時

入力周波数範囲(Hz) < = 2.5Hz 以下

4.3.3.32	パルス分周				
	硘 設定画面		-	- 🗆	×
	パルス分周				
	 人力パルスを設定した分周の 「最大入力周波数(M)」を選打 「パルス公園比(P)」を設定しま 	割合でパルスを出力します。 Rします。 ・オ			
	「出力タイプ(O)」を選択します。 「出力反転(C)」を選択します。	、9。。 ・ワンショットを選択した場合「ワン	ショット時間(T)」を設定しま	す。	
	分周比が1/3の場合、入力が	3周期入ったときに1周期の出力を	を行います。		
	最大入力周波数(M) 〇 5kHz以上				
	● 5kHz未満	NPUT			
	パルス分周比(P)	₩		-	
	1/ 2 ?	TUO			
	(1~10000)	TUR			
	出力タイプ(0)	<u>سا</u>			
	50%テューティーン 日 出力反転(C)	 ワンショット時間(T)			
		1000 • msec	0.50000H2以上 の周波数を出力する場合	≥(z(‡	
		(bUμ~1sec) Uμsec	正常にワンショットが行える	ません	
			ОК	キャンプ	716
		凶 4−125			

- ●入力パルスを指定した分周の割合でパルスを出力します。 「最大入力周波数(M)」を選択します。
 - 「パルス分周比(P)」を設定します。
 - 「出力タイプ(0)」を選択します。ワンショットを選択した場合
 - 「ワンショット時間(T)を指定します。」
 - 「出力反転(C)」を選択します。
 - 例 分周比が3の場合、入力が3周期入ったときに1周期の出力を 行います。
- ●最大入力周波数を選択します。
 - 5kHz 以上
 - 5kHz 未満
 - (5kHzを超えると入力周波数を正しく取得できません)
- ●パルス分周比を指定します。
- 2~256 または 1~10000
- ●出力タイプを指定します。
 - 1周期パルス幅
 - 50%デューティ
 - ワンショット

※選択により画像変化

●出力反転

- 出力タイプがワンショットの時に指定できます。
- ●ワンショット時間を指定します。
 出力タイプがワンショットの時に入力可能です。
 単位を msec/µ sec から選択し時間を入力します。
 (50µ sec~1000msec)

●<?>を押すことでパルス分周の説明画面を 開くことができます。

〕説明画面			-		×
ルス分周					
1周期出力 50%デューティ/ワンショット	入力周波数:DC~100kHz 入力周波数:DC~5kHz	分周比:1/2~1/256 分周比:1/1~1/10000			^
無接点出力時はワンシ 出力周波数:DC~ 入力周波数範囲(ただし入力周波数	ョット固定となり ~5Hz 分周比:1/1~1/1000 Hz)<=5÷分周比(1/設定値 ダ範囲が計算値で5kHzを超え	0) る場合は5kHzが上限			
			_		
				ОК	

凶 4-126.

1 周期出力	入力周波数:DC~100kHz	分周比:1/2~1/256
50%テ゛ューティ/ワンショット	入力周波数:DC~5kHz	分周比:1/1~1/10000

無接点出力時はワンショット固定となり

出力周波数:DC~5Hz 分周比:1/1~1/10000

入力周波数範囲(Hz) < = 5÷分周比(1/設定値)

ただし入力周波数範囲が計算値で 5kHz を超える場合は 5kHz が上限

4.3.4 設定情報を書き込む

4.3.4.1 通信接続-全書き込み

	🞯 WSPA設定ツール	
	ファイル(F) 環境設定(C) ヘルブ	(H)
ľ	通信接続-全読み出し	出力設定 模擬入出力 ファイル情報
	通信接続-全書き込み	
	ファイルー開く	
	ファイルー保存	x
	印刷プレビュー	
	印刷	
	終了	
		-

図 4-127.

プルダウンメニューから<通信接続一全書き込み>を選択すると 全設定内容を設定します。

4.3.4.2 ファイルー保存

全設定内容をDATファイルに保存することができます。 ※ファイル保存は<通信接続-全書き込み>の後に行ってください。

1.ファイルメニューから [ファイル-保存]を選択します。

🕘 WSPA設定ツール	
ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ	(H)
通信接続 - 全読み出し 通信接続 - 全書き込み	出力設定 模擬入出力 ファイル情報
ファイルー開く	***
ファイルー保存	NX
印刷プレビュー 印刷	
終了	

図 4-128.

2.ファイル名 ²	を	へ力し、<保存>を 押	します。			
1121100114日						^
$\leftrightarrow \rightarrow \checkmark \uparrow$	> F	PC » デスクトップ » dat	✓ ひ datの検	索		P
整理 ▼ 新しいフォ	tルダ	_				?
PC	^	名前	更新日時	種物	頁	
🧊 3D オブジェクト		📄 1入力演算.dat	2019/04/10 1	6:11 DA	T ファイル	
↓ ダウンロード		🗋 2入力演算.dat	2019/04/10 1	6:11 DA	エファイル	
デスクトップ		📄 パルス_直流.dat	2019/04/10 1	6:12 DA	T ファイル	
		📄 パルスレート分周.dat	2019/04/10 1	6:12 DA	エファイル	
		📄 ポテンショメータ.dat	2019/04/10 1	6:13 DA	エファイル	
■ ビクチャ		📄 警報設定器.dat	2019/04/10 1	6:13 DA	エファイル	
📑 ビデオ		📄 直流_パルス.dat	2019/04/10 1	6:14 DA	T ファイル	
🎝 ミュージック		📄 抵抗温度.dat	2019/04/10 1	6:14 DA	エファイル	
🏪 Local Disk (C:)		📄 熱電温度.dat	2019/04/10 1	6:14 DA	T ファイル	
🛫 userdoc (l:)	¥	<				>
ファイル名(N):	КЛ	スレート分周				~
ファイルの種類(T):	DAT	ファイル				~
ヘ フォルダーの非表示			保	存(S)	キャンセル	<u>ا</u>
		図 4-129.				

同名ファイルがある場合は下記のメッセージが表示されます。

名前を	付けて保存の確認		
パルスレート分周.dat は既に存在します。 上書きしますか?			
	はい(Y) いいえ(N)		
_	図 4-130.		

置き換える場合は<はい(Y)>をクリックします。 別名に変更する場合は<いいえ(N)>をクリックします。

4.3.5 印刷する

4.3.5.1	印刷プレビュー	
	 WSPA設定ツール 	
	ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)	
	通信接続-全読み出し 出力設定 模擬入出力	ファイル情報
	通信接続 - 全書き込み	
	ファイルー開く 落ち	
	ファイル - 保存 	
	印刷プレビュー	
	印刷	
	終了	
	·	

図 4-131.

プルダウンメニューから<印刷プレビュー>を選択すると 設定内容をプレビュー表示することができます。



図 4-132.

4.3.5.2	印刷
	 WSPA設定ツール
	ファイル(F) 環境設定(C) ヘルプ(H)
	通信接続-全読み出し 出力設定 模擬入出力 ファイル情報
	通信接続-全書き込み
	ファイルー開く 🏧
	ファイル - 保存
	印刷プレビュー
	ED局J
	終了

図 4-133.

プルダウンメニューから<印刷>を選択すると 下記の印刷画面が表示され、設定内容を印刷することができます。

印刷	
般	
プリンターの選択	
	🚍 Send To OneNote 2016
状態: 準備完了 場所: コメント:	□ファイルへ出力(F) 詳細設定(R) ブリンターの検索(D)
ページ範囲 ● すべて(L)	部對(C): 1 •
 ○ 選択した部分(T) ○ 現在のページ(U) 	
○ ページ指定(G):	✓ 部単位で印刷(O)

図 4-134.

プリンタを選択し、<OK>を押すと印刷を開始します。

4.3.6 バージョン画面

プルダウン	メニューのヘルプからバージョン情報を選択します
🞯 WSPA設5	ミツール
ファイル(F)	環境設定(C) ヘルプ(H)
製品情報	入力設定 変換 バージョン情報 入出力 ファイル情報
製品名称	パルスレート分周変換器
製品形式	WSPA-FDR-14KK-AX



バージョ	ン画	面が表	示さ	れま	す。
------	----	-----	----	----	----

硘 バージョン		×
	WSPA設定ツール パージョン: XXX Copyright2006-2019	
	渡辺電機工業株式会社	画面終了
	図 4-136.	

4.3.7 初期化

刨 WSPA設定	官ツール				
ファイル(F)	環境設定(C) ヘルプ	(H)			
製品情報	パスワード	出力設定	模擬入出力	ファイル情報	
制口之社	通信設定				
彩石口石小小	初期化	.器			
製品形式	WSPA-FDR-14KK-	ųχ			

図 4-137.

メニューのファイルから<通信接続-全読み出し>を実行すると選択可能に なります。

接続した機器を工場出荷状態にします。

設定した内容が全て失われれます。

※初期化後、表示内容は自動で再表示されません。

メニューのファイルから<通信接続-全読み出し>を操作してください。

第5章 メッセージー覧

ーアルファベットー

AD変換エラーが発生しました。 説明および対処: 機器でADコンバートエラーが発生しました。

-ア行-

アイコンをクリックしパラメータを設定してOKを押してください。 説明および対処: 設定を選択しなおしました。 パラメータ設定をする必要があります。

演算式の誤りです。

説明および対処: 演算の設定が間違っています。

演算設定が未設定です。

説明および対処: 演算設定が未設定です。 変換・演算タブでアイコンをクリックして演算設定をしてください。

ーカ行ー

書き込みを行います。

説明および対処: 書き込みを行う前の確認メッセージです。

書き込みが完了しました。

説明および対処: 書き込み完了時に表示されます。

警報設定値、警報解除ヒステリシス幅をクリアします。

モジュールは模擬入出力されたままになっています。 説明および対処: 警報設定をクリアします。

ーサ行ー

指定したファイルは読み出しできません。

説明および対処: 指定したファイルが読み出せる形式ではありませんでした。

指定したファイルはデータテーブル用DATです。

説明および対処: 指定したファイルはリニアライズ設定で保存した DATファイルです

指定したファイルはモジュールデータ用DATです。

説明および対処: 指定したファイルはモジュール設定を保存したDATファイルです。 リニアライズ設定で保存したDATファイルを選択してください。

指定したファイルはデータテーブル20用DATです。

説明および対処: 指定したファイルはリニアライズ20点で保存したDATファイル です。 リニアライズ100点で保存したDATファイルを選んでください。

指定したファイルはデータテーブル100用DATです。

説明および対処: 指定したファイルはリニアライズ100点で保存したDAT ファイルです。

リニアライズ20点で保存したDATファイルを選んでください

出力調整中です。設定書き込みを行わずに終了しますか?

説明および対処: 出力調整中のデータを書き込む場合はキャンセル後「設定書き込み」、 または「通信接続-全書き込み」を行って下さい。

初期化を完了しました。 全データ読み出しをすることで確認できます。

モジュールは模擬入出力状態を維持しています。

説明および対処: 初期化を完了しました。

数字を指定してください。

説明および対処: 数字以外を指定しました。 数字を指定してください。

設定を工場出荷状態に初期化します。模擬入出力状態は維持されます。 説明および対処: 初期化を選択すると表示されます。

初期化を行う場合は<OK>を選んでください。

接続された機器には対応しておりません

説明および対処: 接続されている機器が対象外の機器です。 機器形式から対応機器であるかご確認ください。

設定されているセンサは対応していません。 センサ種別はKを表示します。

説明および対処: モジュールに設定されているセンサ No が設定ツールで 認識できません。 -タ行-

対象の機器が違います。 製造 No が異なります。全読み出ししてください。 製造 No が異なるので書き込めません。 機種が異なります。全読み出ししてください。 機種が異なるので書き込めません。

説明および対処: 接続されている機器が対象外の機器です。 機器形式から対応機器であるかご確認ください。

通信ポートのオープン処理でエラーが発生しました データモニタを終了します 説明および対処: パソコンの通信ポートが使用できません 他のプログラムで使用していないかご確認ください。

通信エラーが発生しました

①接続されている機器の電源は入っていますか。

②通信ケーブルは正しく接続されていますか。
 説明および対処: 通信エラーです。
 接続されている機器の電源や通信ケーブルをご確認ください。

コマンド無効

説明および対処: コマンドが無効です。 通信ケーブルの接続をご確認ください。

SUMエラー

説明および対処: SUMエラーが発生しました。 通信ケーブルの接続をご確認ください。

指定チャンネル無効

説明および対処: 指定したチャンネルが無効です。 通信ケーブルの接続をご確認ください。

受信バッファオーバー

説明および対処: 受信バッファオーバーが発生しました。 専用通信ケーブルの接続をご確認ください。

タイムアウト (1キャラクタ間)

説明および対処: 1 キャラクタ間のタイムアウトが発生しました。 通信ケーブルの接続をご確認ください。

パリティエラー

- 説明および対処: パリティエラーが発生しました 通信ケーブルの接続をご確認ください。
- **フレーミングエラー** 説明および対処: フレーミングエラーが発生しました 通信ケーブルの接続をご確認ください。

オーバーランエラー 説明および対処: オーバーランエラーが発生しました。 通信ケーブルの接続をご確認ください。

受信コマンドでハードエラー発生

説明および対処: ハードエラーが発生しました。 弊社へご連絡ください。

SWモードのためRS232C通信不許可

説明および対処: SW調整モードになっております。 機器のSWをご確認ください。

Xchの入力調整を解除できませんでした。

調整入力の解除 通信ケーブルの接続をご確認ください。

Xchの出力調整を解除できませんでした。

説明および対処: 調整出力の解除 通信ケーブルの接続をご確認ください。

温度テーブル未設定

説明および対処:

説明および対処: 温度テーブルが設定されていません 弊社へご連絡ください。

通信中です。 操作は無効です。

説明および対処: 通信中にメニュー操作は無効です。

データモニタ終了後有効になります。 説明および対処: データモニタ終了後に有効になります。

ーナ行ー

2点以上指定してください。 リニアライズテーブル 説明および対処: リニアライズテーブルは2点以上の指定をしてください。

入力設定に摂氏または華氏に変換できない数値が入力されています。 説明および対処: 入力設定の値を変更してください。

入力調整設定に摂氏または華氏に変換できない数値が入力されています。 説明および対処: 入力調整設定の値を変更してください。 入力範囲が誤りです。

製品情報 入力設定(ローレベルカット) 入力設定(入力%範囲設定) 変換·演算(起動遅延·警報監視無視時間) 変換・演算 (X c h 警報ヒステリシス値 5 桁以内) 変換・演算(X c h 警報設定値 5 桁以内) 変換・演算(X c h 警報遅延時間) 変換・演算(X c h 復帰遅延時間) 変換・演算(工業量Low) 変換・演算(工業量 H I) 変換・演算(工業量) 変換

・演算(工業量)小数点位置 変換・演算(レシオ) 変換・演算(バイアス) 変換・演算(X c h 目指定) 変換・演算(ワンショット時間) 変換・演算(パルス分周比) 変換・演算(パルスレート) 変換

・演算(傾斜応答T1) 変換・演算(モニタ設定値) 変換・演算(ディファレンシャル) 変換・演算(バンド幅) 変換・演算(タイマ設定) 変換·演算(変化率上限) 変換

・演算(変化率下限) 変換

・演算(変化率上昇) 変換·演算(変化率下降) 変換・演算(スケールハイ) 変換・演算(スケールロー) 変換・演算(ハイリミット) 変換・演算(ローリミット) 変換・演算(ハイとローが同値です) 変換・演算(ハイはローより大きく設定してください) 変換・演算(進み時間) 変換・演算(遅れ時間) 変換・演算(プリセット) 変換・演算(傾き) 変換・演算(チェンジポイント設定値) 入力設定 HIとLOWを違う値で指定してください。 入力調整設定(X c h 1 0 0 %) 出力設定(ローレベルカット) 出力設定(起動遅延時間) 出力設定100% XXX以下で指定してください。 出力設定100% XXX以上で指定してください。 出力設定(出力%範囲設定) 出力調整設定(Xch100%) 出力設定(起動遅延時間)

説明および対処: 入力範囲が間違っています。

入力文字が誤りです。 ファイル情報にカンマは使用できません。

文字数エラー

説明および対処: 入力文字が間違っています。

入力ローレベルカット設定がある場合、模擬入力中の場合は正しくデータモニタに 反映されません

説明および対処: データモニタを使用して入力の調整を行う場合、 入力ローレベルカット設定なし、模擬入力OFFの状態で設定して ください。

入力ローレベルカット解除で設定してから変更してください。

説明および対処: 入力ローレベルカットを解除にしてから作業してください。

ーハ行ー

パスワードが誤りです	っ。 カンマは使えません
	半角4バイトまでです。
	確認パスワードが間違っています。
説明および対処・	機器に設定したパスワードと一致しません。

のねよい対処: 機器に設定したハスワートと一致しません。 正しいパスワードを入れてください。

パルス平均化の値が範囲外です。 平均化するパルス数を1に変更しました。 説明および対処: 設定が範囲外になりました。再度設定してください。

フラッシュメモリ書き込みエラーが発生しました。 説明および対処: 機器内部でフラッシュメモリ書き込みエラーが発生しました。

-マ行-

模擬入出力中です。 このまま終了しますか?

模擬入出力解除後設定を変更してください。 説明および対処: 模擬出力したままで設定を終了するか確認メッセージです。

模擬入出力中にケーブルが抜かれました。 説明および対処: 機器は模擬入出力を維持しています。

模擬入出力中にモジュールが変更されました。 説明および対処: 機器が模擬入出力を維持しています。

模擬入出力を解除してから変更してください。 説明および対処: 模擬入出力中は変更できません。

渡辺電機工業株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6丁目16番地19号
 電話 03(3400)6141(代表) FAX 03(3409)3156
 http://www.watanabe-electric.co.jp
 (JR原宿駅/地下鉄千代田線明治神宮前駅下車)